

滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部 第64回本部員会議 次第

日 時：令和4年11月25日(金)  
15時15分～15時45分  
場 所：危機管理センター  
災害対策本部室

あいさつ

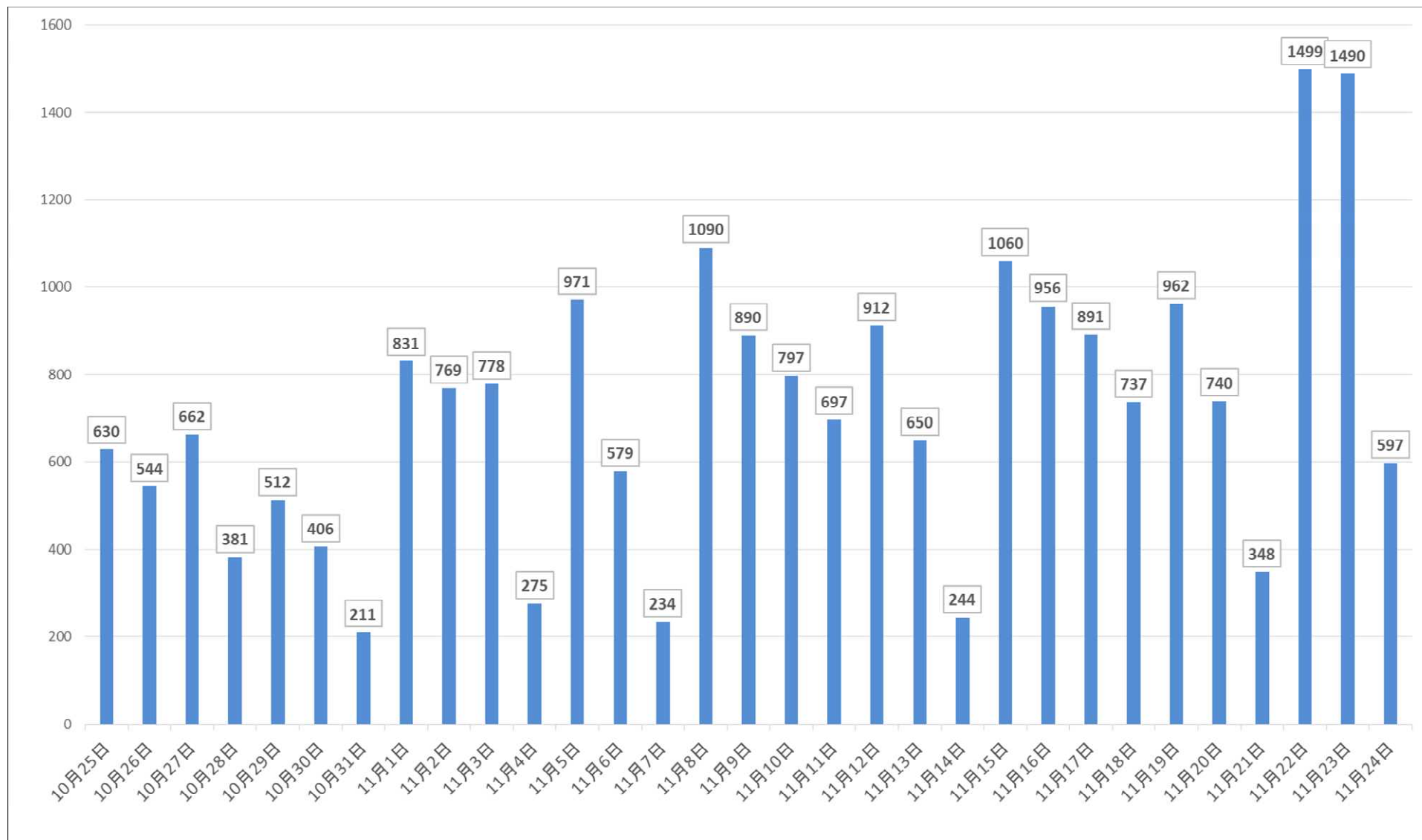
議 題

- (1) 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について
- (2) 「コロナとのつきあい方滋賀プラン」の見直し等について
- (3) 季節性インフルエンザとの同時流行を想定した保健・医療提供体制の整備について
- (4) 新型コロナウイルスワクチン接種の推進について
- (5) その他

# 新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

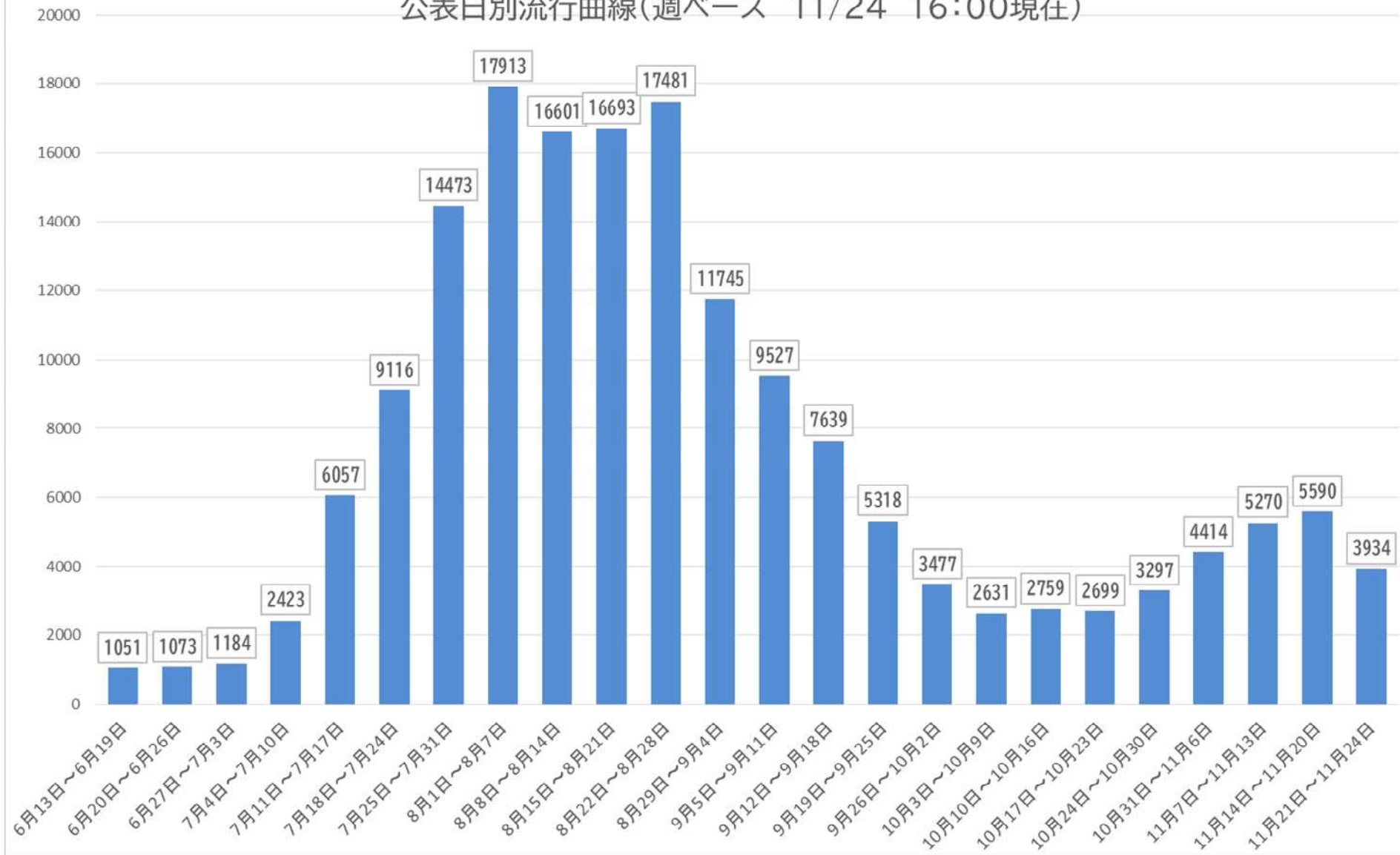
# 県内の感染動向について(11/24現在)

## 1)①流行曲線(公表日別)

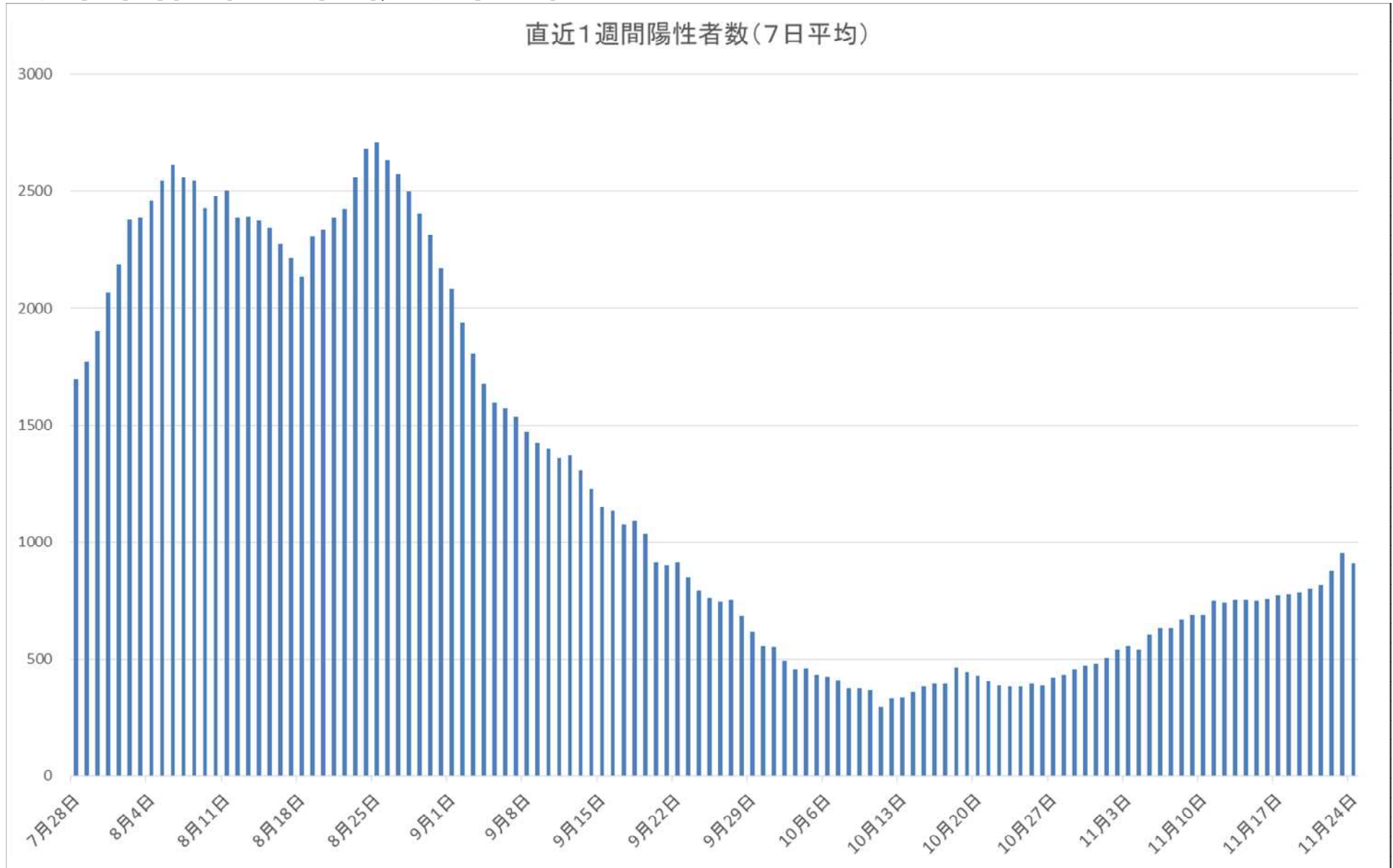


流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

公表日別流行曲線(週ベース 11/24 16:00現在)

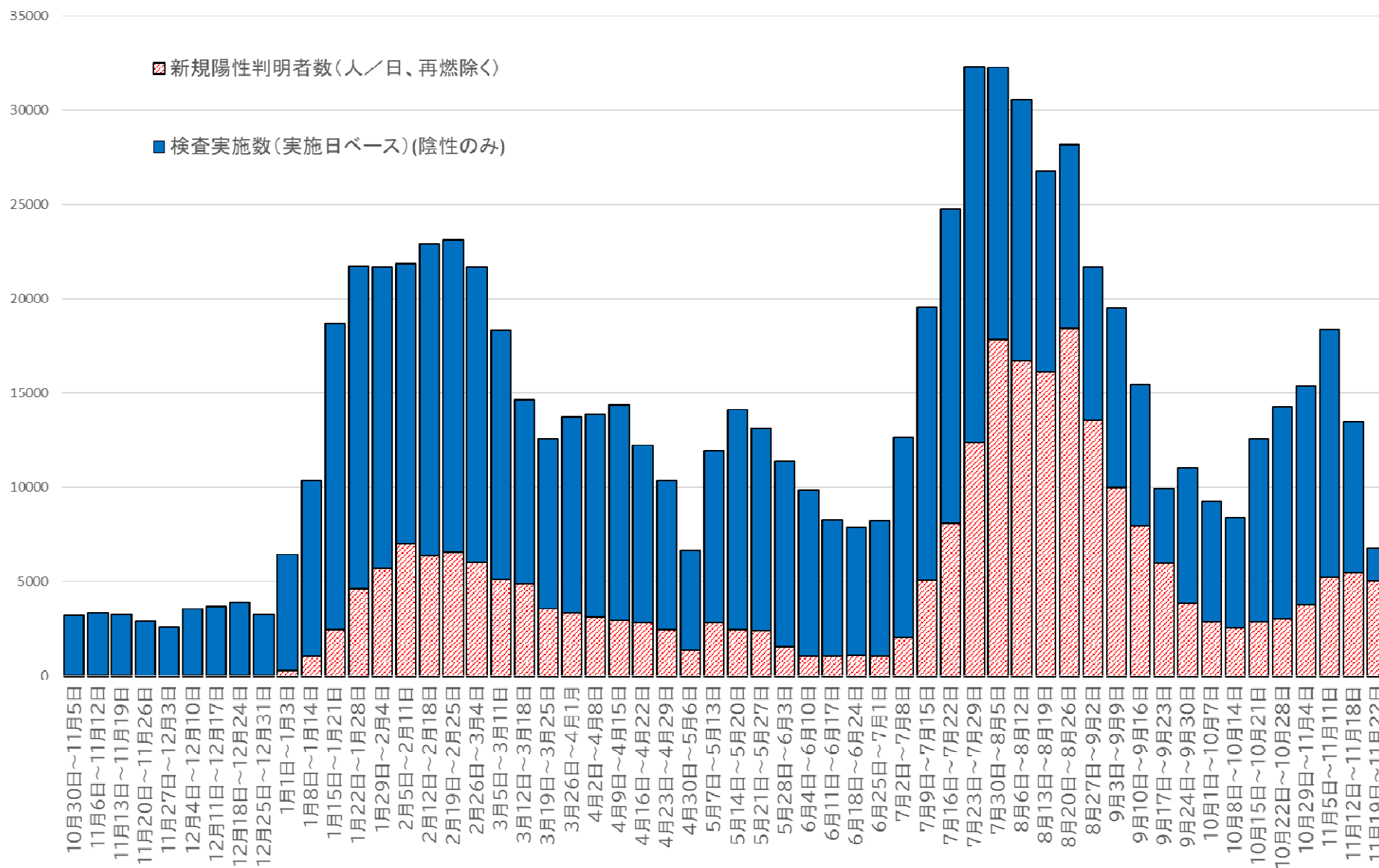


# 流行曲線(7日間移動平均)

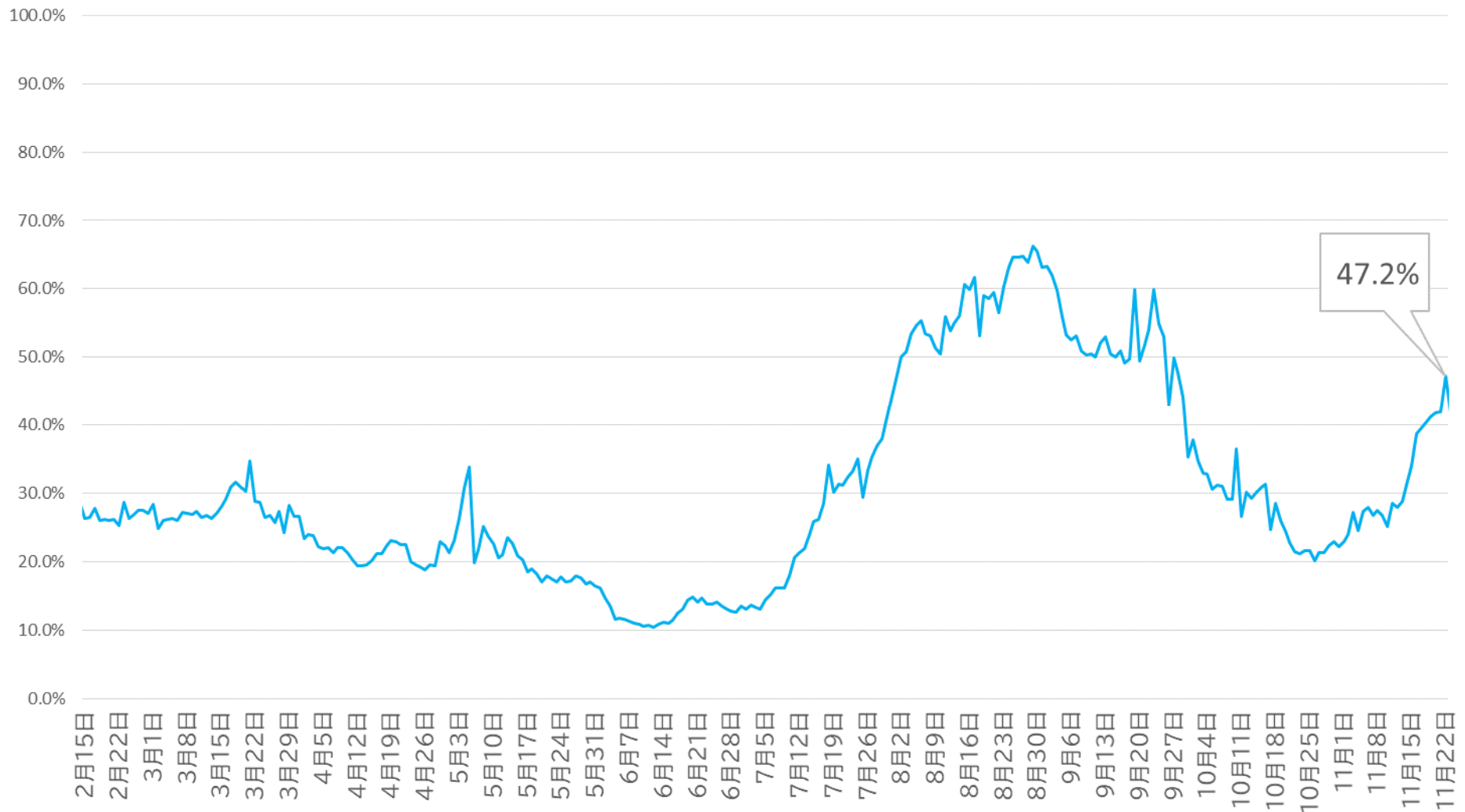


※集団感染発生や曜日による数値のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値をグラフで示したものです。

## 2)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



### 3)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、11月22日現在の陽性率は47.2%でした。

## 4) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

病床数	入院者数			空床数
		県内発生	その他	
405	269	245	24	136

宿泊療養 部屋数	療養者数			その他	空数
		県内発生	県外発生		
631	65	65	0	21	545

## 5) 県内の陽性者発生状況

陽性者累計	入院患者 (県内発生)				死亡
		軽症	中等症	重症	
265,035	245	182	60	3	378

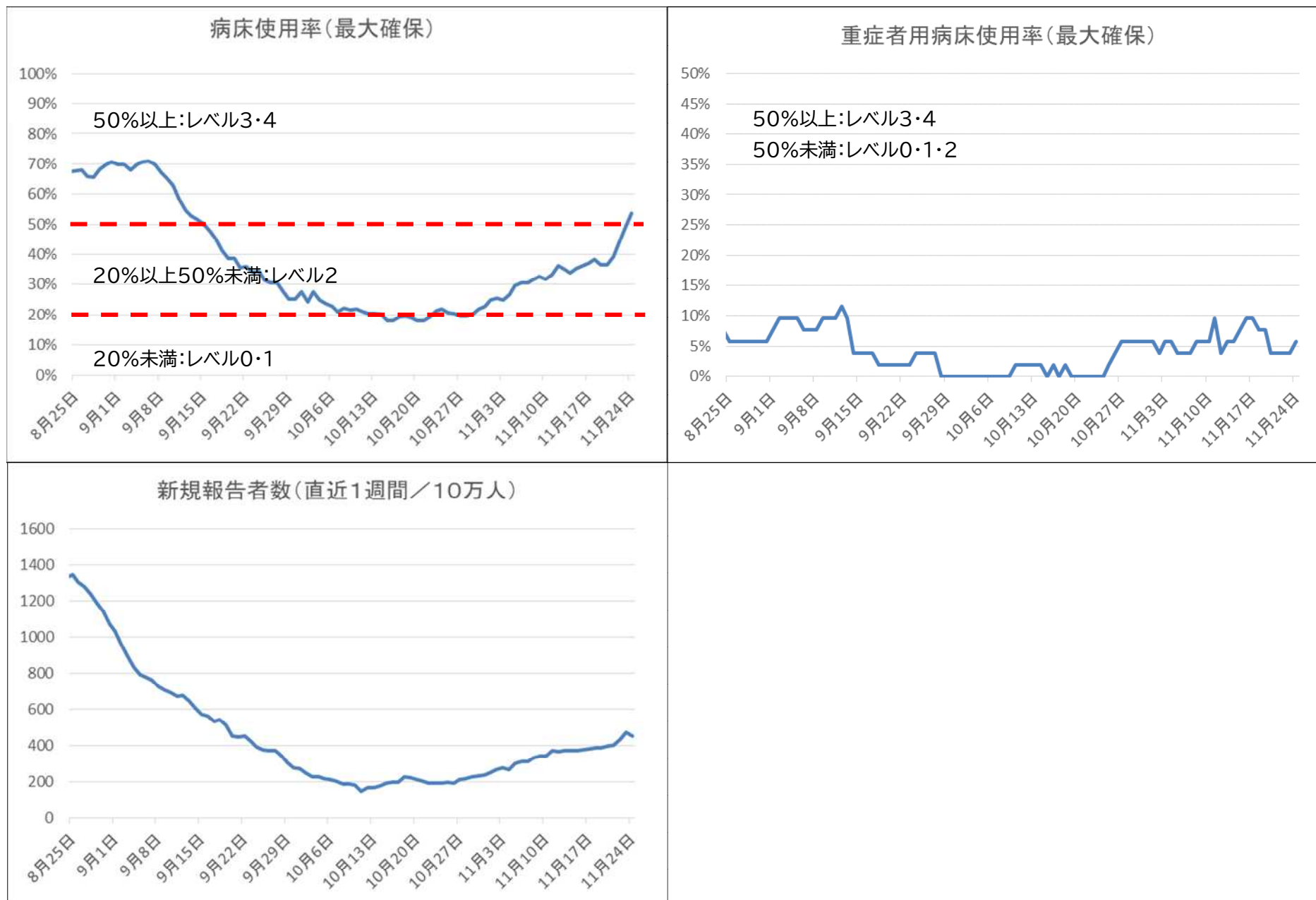
重症：ICUに入室または人工呼吸器・ECMO(体外式膜型人工肺)が必要  
 中等症：酸素投与が必要

## 6) 各指標の状況

現時点の確保病床の占有率※1	66.4%	※1 現時点の確保病床の数、405床に対する割合
最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※2	53.7%	※2 最大確保病床数(ピーク時に確保予定である病床数)、501床に対する割合
うち重症者用病床の最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※3	5.8%	※3 最大確保病床数(ピーク時に確保予定である病床数)、52床に対する割合
直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数	450.7人	
直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較※4	多い	※4 直近一週間の陽性者数が先週一週間に比較して多いか少ないか記載
直近1週間のPCR等陽性率※5	47.2%	
PCR等検査数(直近1週間分)	12,989件	※5 報告受領件数(抗原検査を含む)に基づく陽性率(自己検査・無料検査は含まない。)
検査数累計(PCRおよび抗原検査の総数)	1,063,719件	

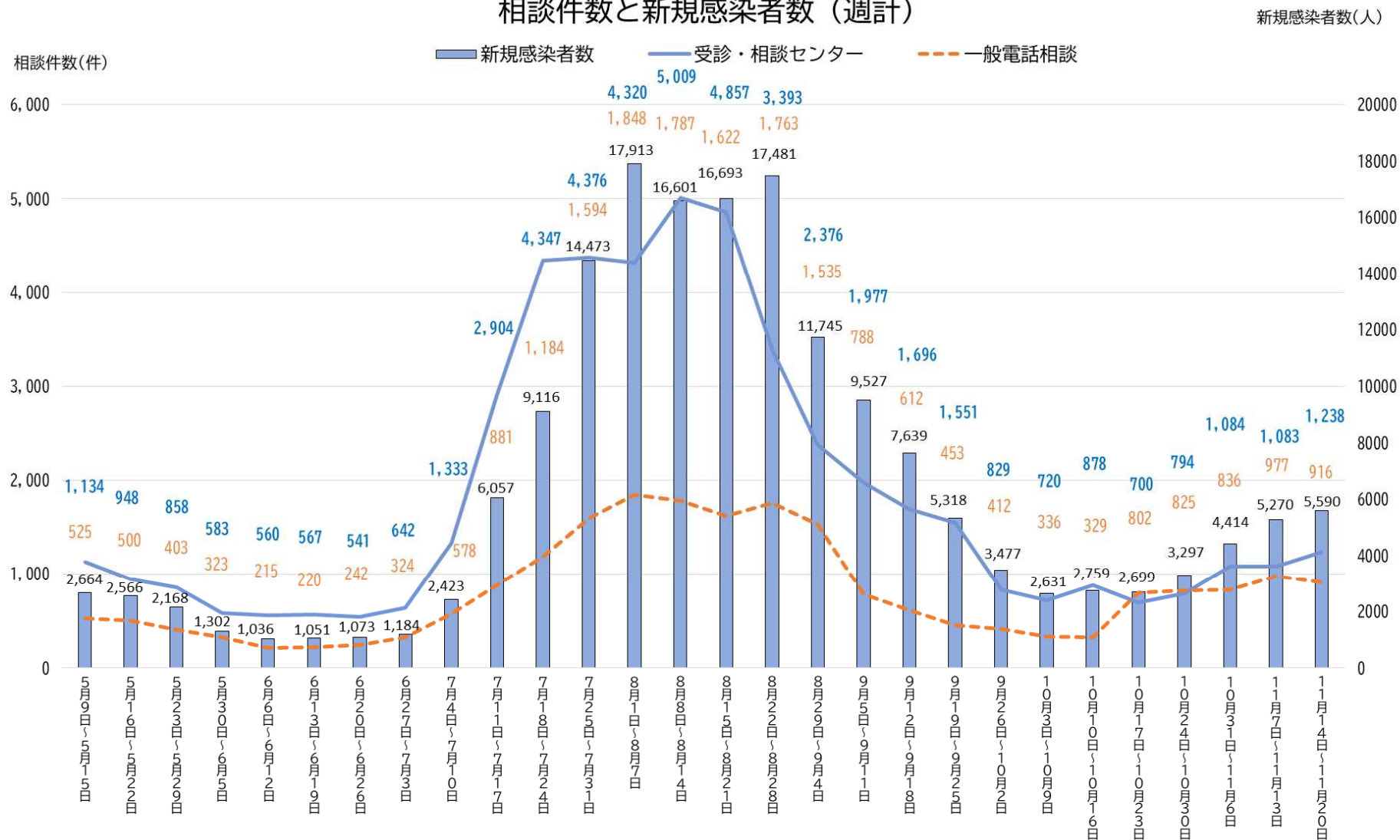


## 7)その他の県内の感染動向



# 8)相談体制について

## 相談件数と新規感染者数（週計）



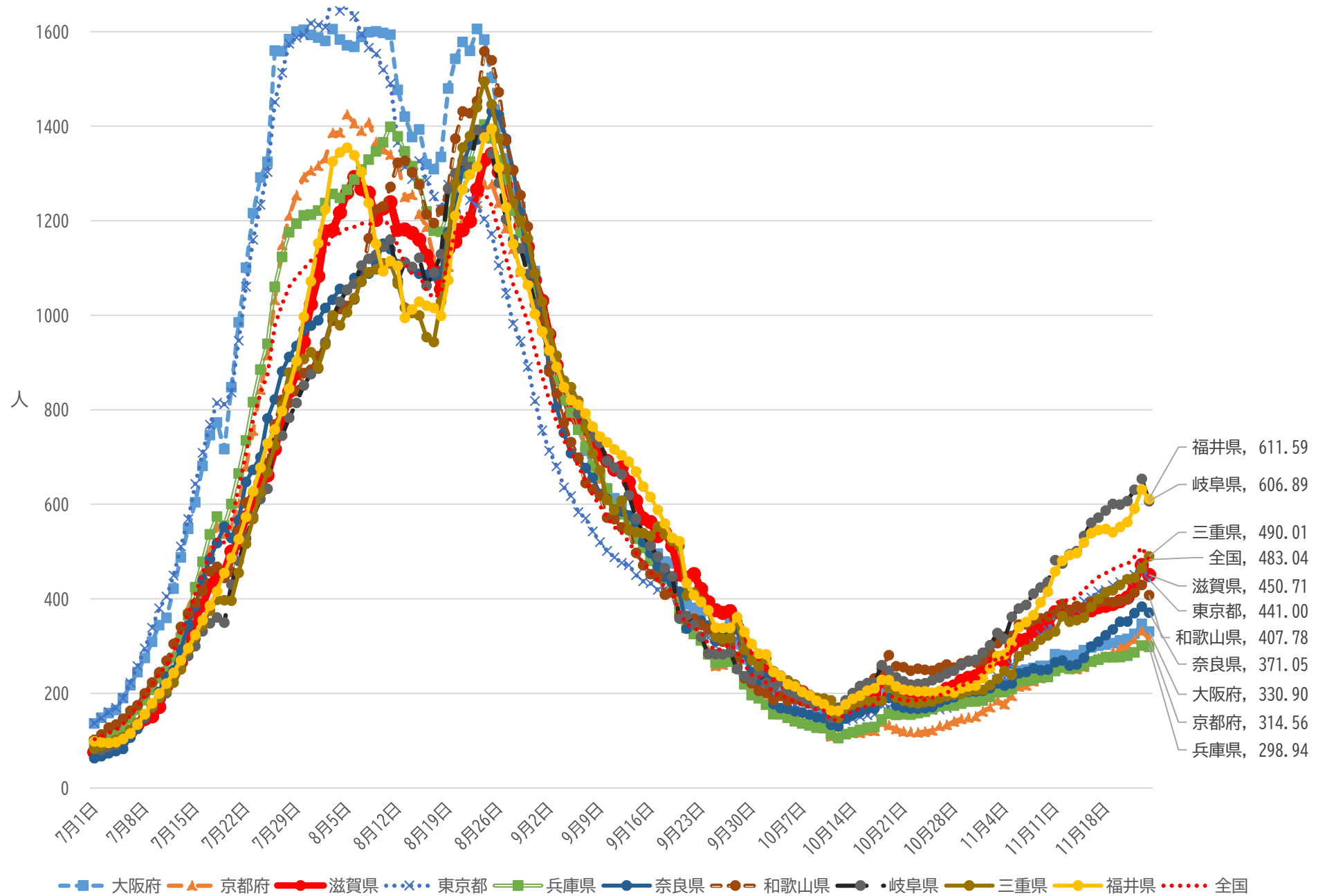
## 9)2022年1月以降に発生したクラスターの状況

発生年月	発生件数
2022年1月	66
2022年2月	86
2022年3月	48
2022年4月	40
2022年5月	29
2022年6月	17
2022年7月	71
2022年8月	99
2022年9月	76
2022年10月	31
2022年11月	56
合計	619

	第6波(1/1~6/30)	第7波(7/1~11/24)
発生施設	発生件数	発生件数
飲食店	3	0
介護関連事業所	72	198
学校	57	20
医療機関	31	48
事業所	23	2
保育関連施設	75	34
障害福祉関連事業所	20	30
会食	4	1
文化・スポーツ活動	1	0
合計	286	333

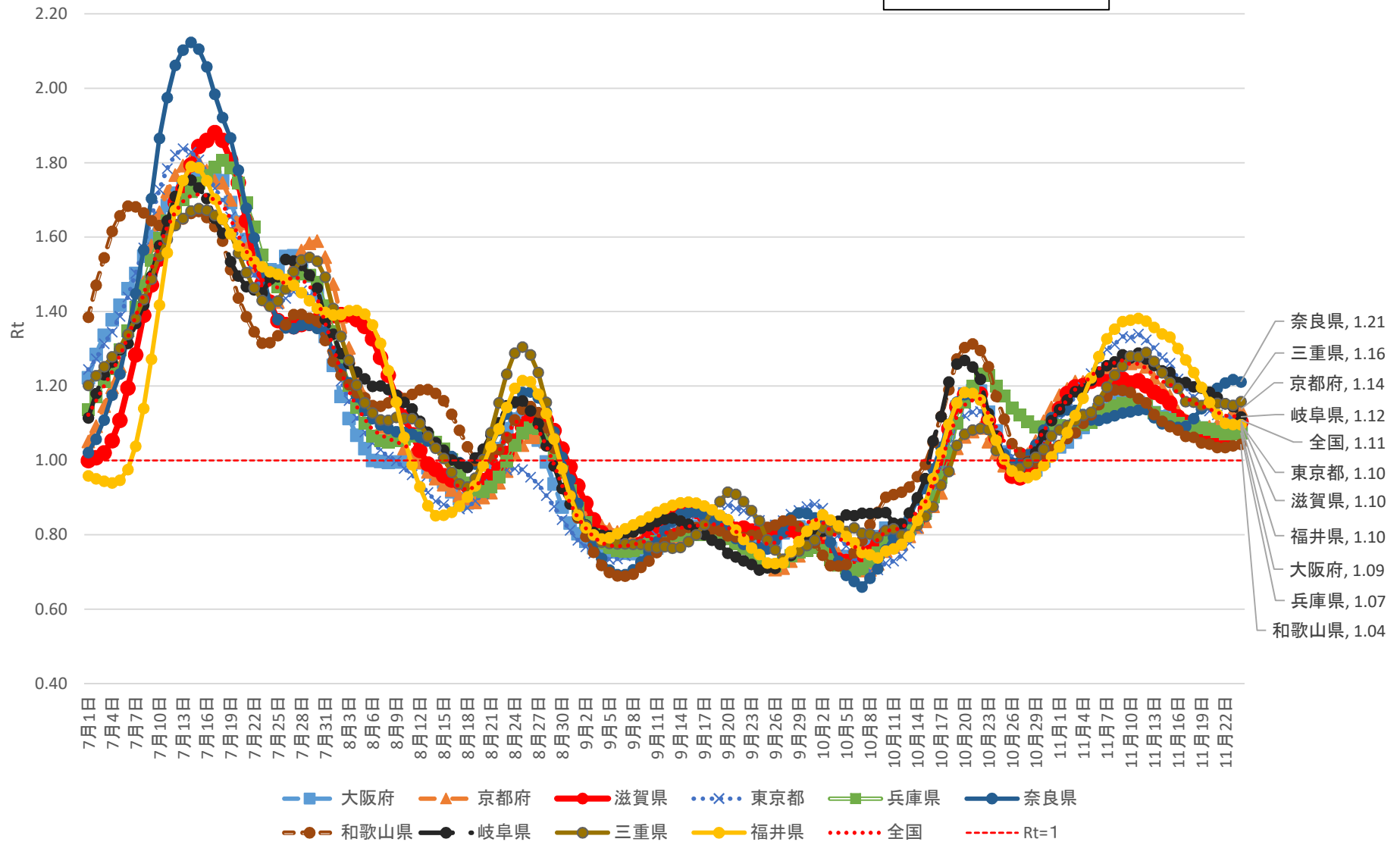
直近1週間のクラスター発生状況		
発生施設	陽性者数(人)	公表日
介護関連事業所276	6	11月18日
医療機関88	15	11月18日
医療機関89	8	11月19日
医療機関90	8	11月19日
介護関連事業所277	9	11月20日
介護関連事業所278	6	11月20日
保育関連施設124	8	11月20日
介護関連事業所279	5	11月21日
障害福祉関連事業所52	5	11月21日
介護関連事業所280	7	11月22日
介護関連事業所281	12	11月23日
保育関連施設125	11	11月23日
医療機関91	9	11月23日
医療機関92	14	11月23日
介護関連事業所282	5	11月23日
医療機関93	9	11月23日
医療機関94	10	11月23日
介護関連事業所283	6	11月24日
介護関連事業所284	5	11月24日
介護関連事業所285	9	11月24日
保育関連施設126	5	11月24日
学校96	6	11月24日

# 近隣府県の10万人当たりの新規感染者数の推移(直近7日間の累計患者数)(R4.7/1-11/24)

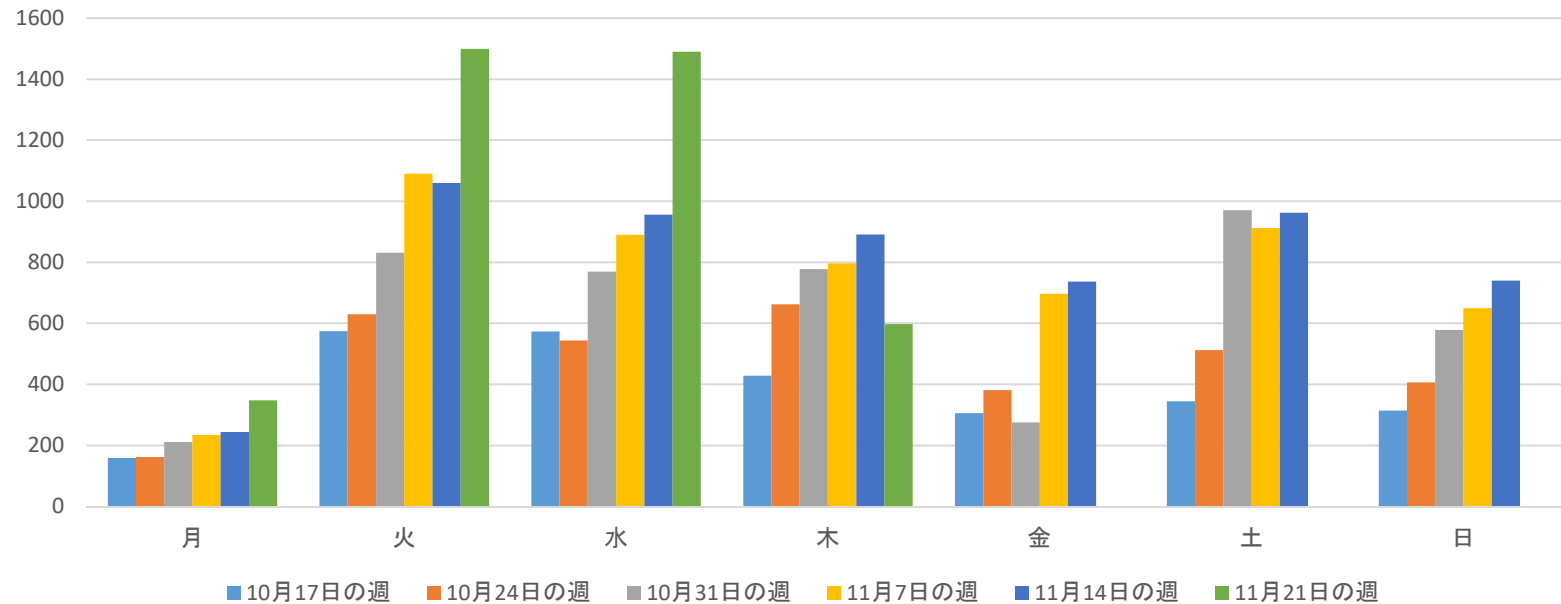


# 実効再生産数の推移(7日間移動平均) (R4.7/1-11/24)

滋賀県  
11月24日 1.10



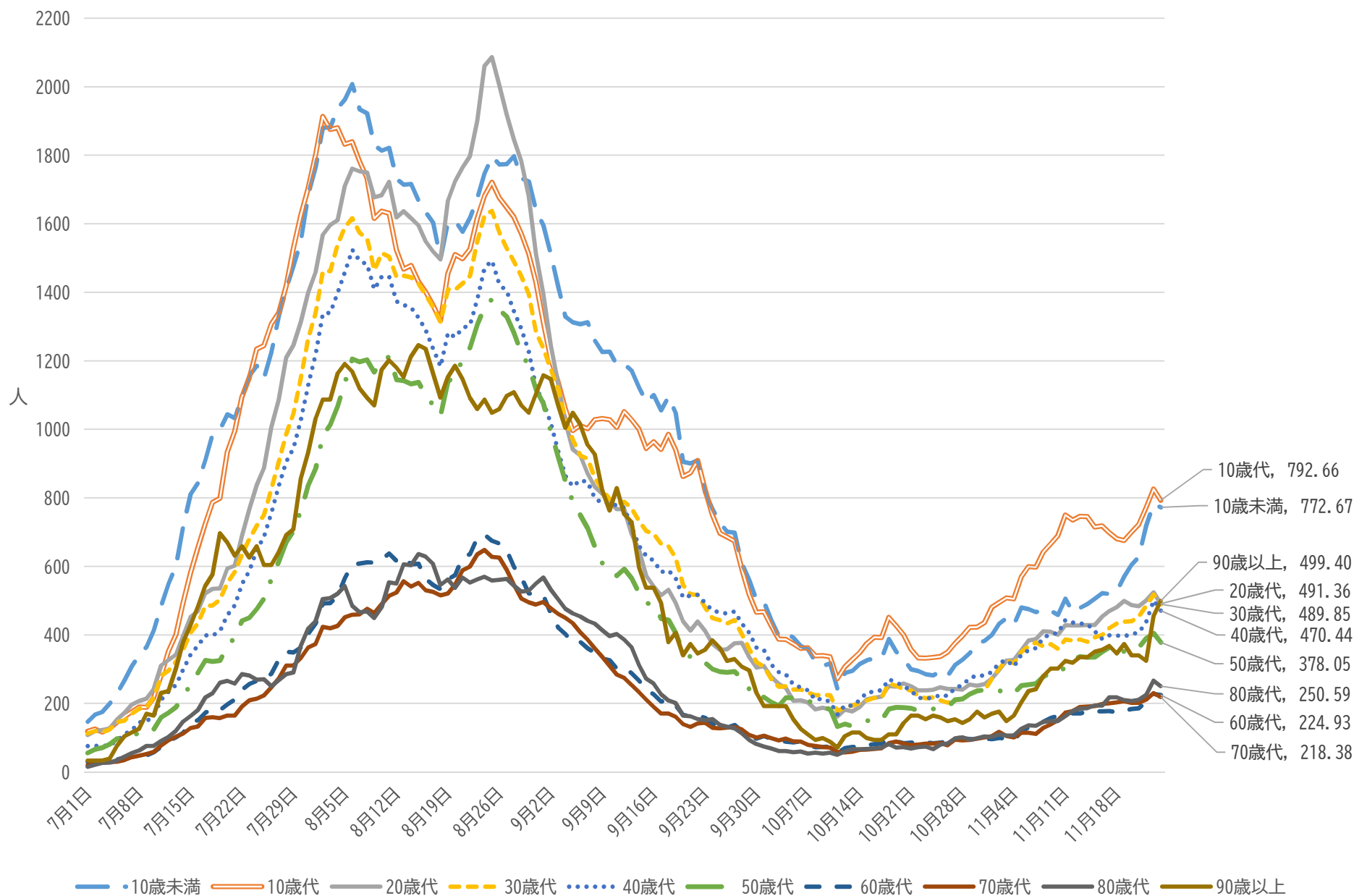
## 曜日ごとの新規陽性者数の推移



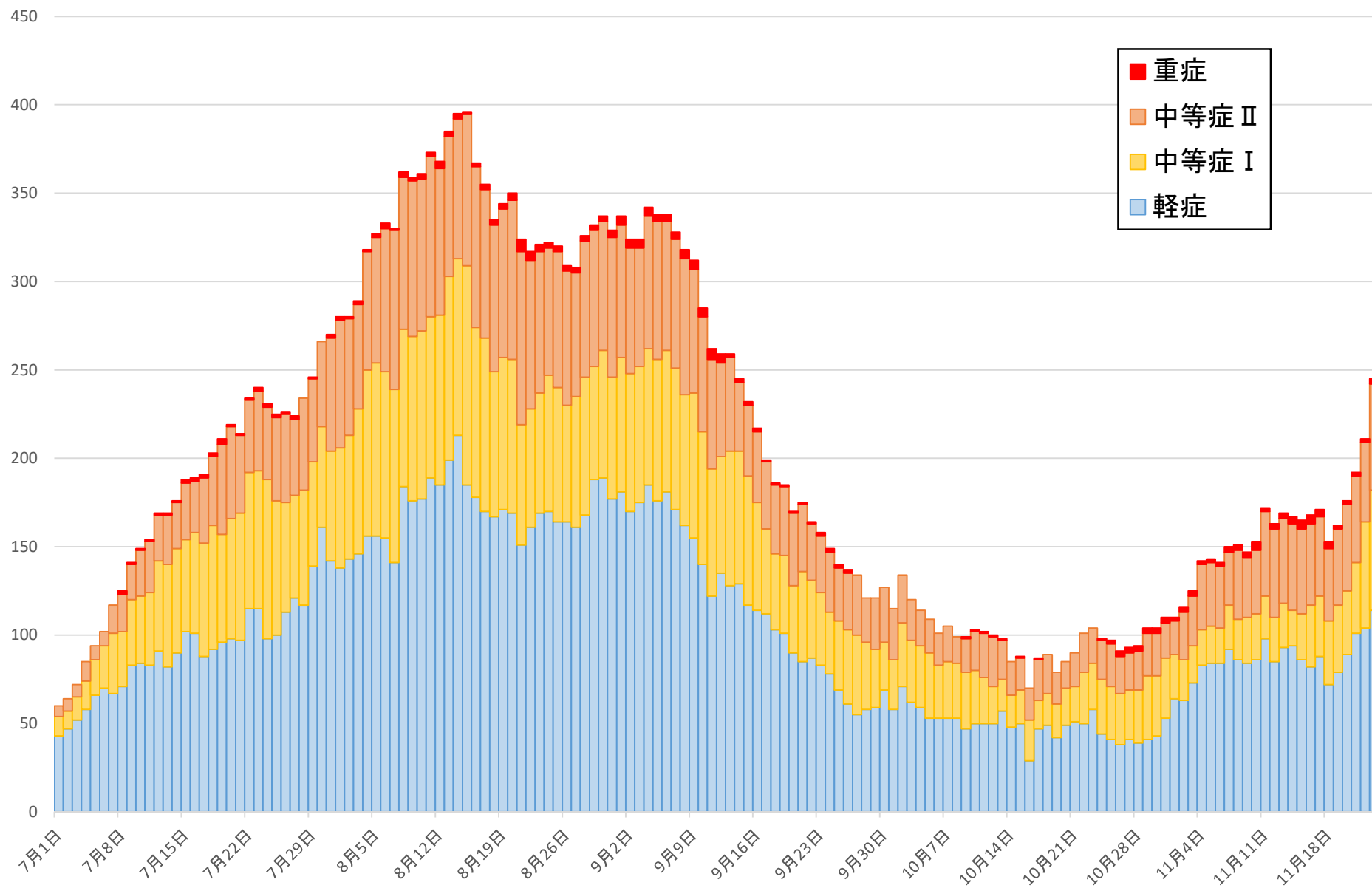
月	火	水	木	金	土	日	週合計	今週/先週比
10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	2699	0.98
159	574	573	428	306	345	314		
10/24	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	3297	1.22
162	630	544	662	381	512	406		
10/31	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	4414	1.34
211	831	769	778	275	971	579		
11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	5270	1.19
234	1090	890	797	697	912	650		
11/14	11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	5590	1.06
244	1060	956	891	737	962	740		
11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27		
348	1499	1490	597					

黄色は先週の同じ曜日から増

# 滋賀県 年代別10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数) (R4.7/1~11/24) 日別・公表日



# 滋賀県 入院者の重症度推移(R4.7/1~11/24) 日別・公表日



コントロールセンター通信より



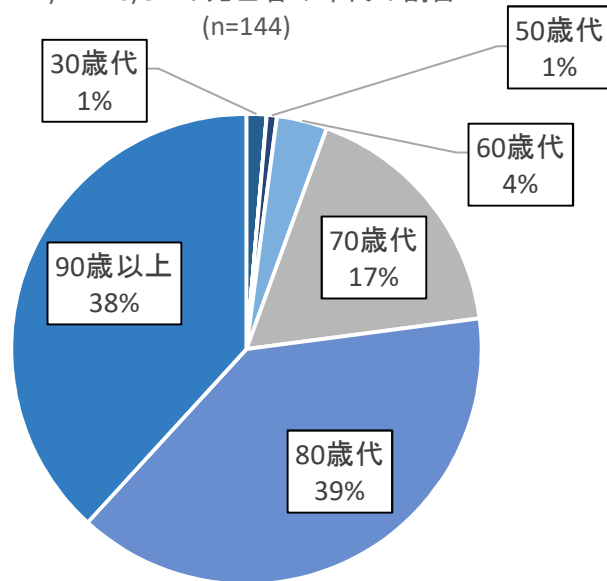
## 滋賀県 R4.7/1～11/24の重症度

年代	期間:7/1～10/31				期間:11/1～11/24			
	陽性者数	中等症Ⅰ	中等症Ⅱ	重症	陽性者数	中等症Ⅰ	中等症Ⅱ	重症
10歳未満	23029	68 ( 0.30% )	14 ( 0.06% )	2 ( 0.009% )	2674	3 ( 0.11% )	6 ( 0.22% )	0 ( - )
10歳代	23254	51 ( 0.22% )	9 ( 0.04% )	1 ( 0.004% )	3624	2 ( 0.06% )	0 ( 0.00% )	0 ( - )
20歳代	20248	68 ( 0.34% )	9 ( 0.04% )	0 ( - )	2291	2 ( 0.09% )	3 ( 0.13% )	0 ( - )
30歳代	22754	95 ( 0.42% )	13 ( 0.06% )	0 ( - )	2639	5 ( 0.19% )	2 ( 0.08% )	0 ( - )
40歳代	24075	116 ( 0.48% )	26 ( 0.11% )	3 ( 0.012% )	2991	6 ( 0.20% )	2 ( 0.07% )	1 ( 0.033% )
50歳代	16254	126 ( 0.78% )	40 ( 0.25% )	8 ( 0.049% )	1936	9 ( 0.46% )	1 ( 0.05% )	1 ( 0.052% )
60歳代	9246	137 ( 1.48% )	60 ( 0.65% )	7 ( 0.076% )	1198	22 ( 1.84% )	9 ( 0.75% )	2 ( 0.167% )
70歳代	6063	266 ( 4.39% )	188 ( 3.10% )	9 ( 0.148% )	868	30 ( 3.46% )	35 ( 4.03% )	1 ( 0.115% )
80歳代	3828	366 ( 9.56% )	386 ( 10.08% )	21 ( 0.549% )	554	46 ( 8.30% )	72 ( 13.00% )	1 ( 0.181% )
90歳以上	1858	245 ( 13.19% )	307 ( 16.52% )	3 ( 0.161% )	227	29 ( 12.78% )	42 ( 18.50% )	5 ( 2.203% )
合計	150609	1538 ( 1.02% )	1052 ( 0.70% )	54 ( 0.036% )	19002	154 ( 0.81% )	172 ( 0.91% )	11 ( 0.058% )
(再掲)60歳未満	129614	524 ( 0.40% )	111 ( 0.09% )	14 ( 0.011% )	16155	27 ( 0.17% )	14 ( 0.09% )	2 ( 0.012% )
(再掲)60歳以上	20995	1014 ( 4.83% )	941 ( 4.48% )	40 ( 0.191% )	2847	127 ( 4.46% )	158 ( 5.55% )	9 ( 0.316% )

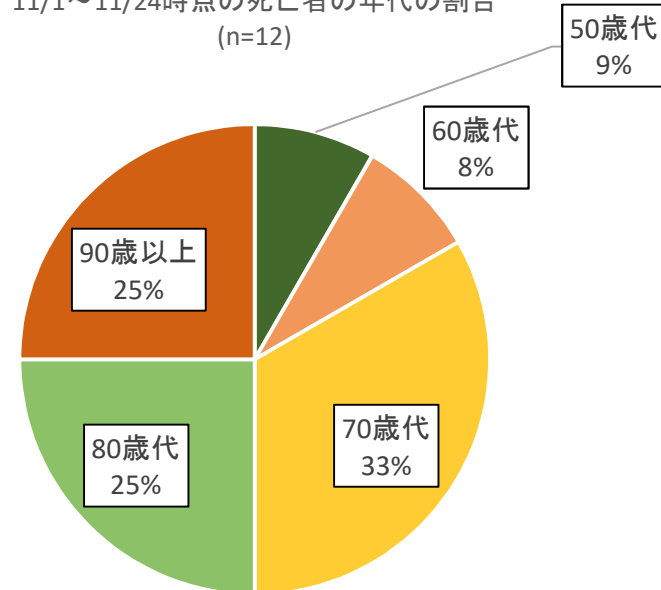
# 滋賀県 年代別の死亡者数と致命率

	期間: 2022/7/1~2022/10/31			期間: 2022/11/1~2022/11/24時点		
	新規陽性者数	死亡者数	致命率	新規陽性者数	死亡者数	致命率
10歳未満	23029	0	-	2674	0	-
10歳代	23254	0	-	3624	0	-
20歳代	20248	0	-	2291	0	-
30歳代	22,754	2	0.009%	2639	0	-
40歳代	24075	0	-	2991	0	-
50歳代	16254	1	0.006%	1936	1	0.052%
60歳代	9246	5	0.054%	1198	1	0.083%
70歳代	6063	25	0.412%	868	4	0.461%
80歳代	3828	56	1.463%	554	3	0.542%
90歳以上	1858	55	2.960%	227	3	1.322%
合計	150609	144	0.096%	19002	12	0.063%
(再掲)60歳未満	129614	3	0.002%	16155	1	0.006%
(再掲)60歳以上	20995	141	0.672%	2847	11	0.386%

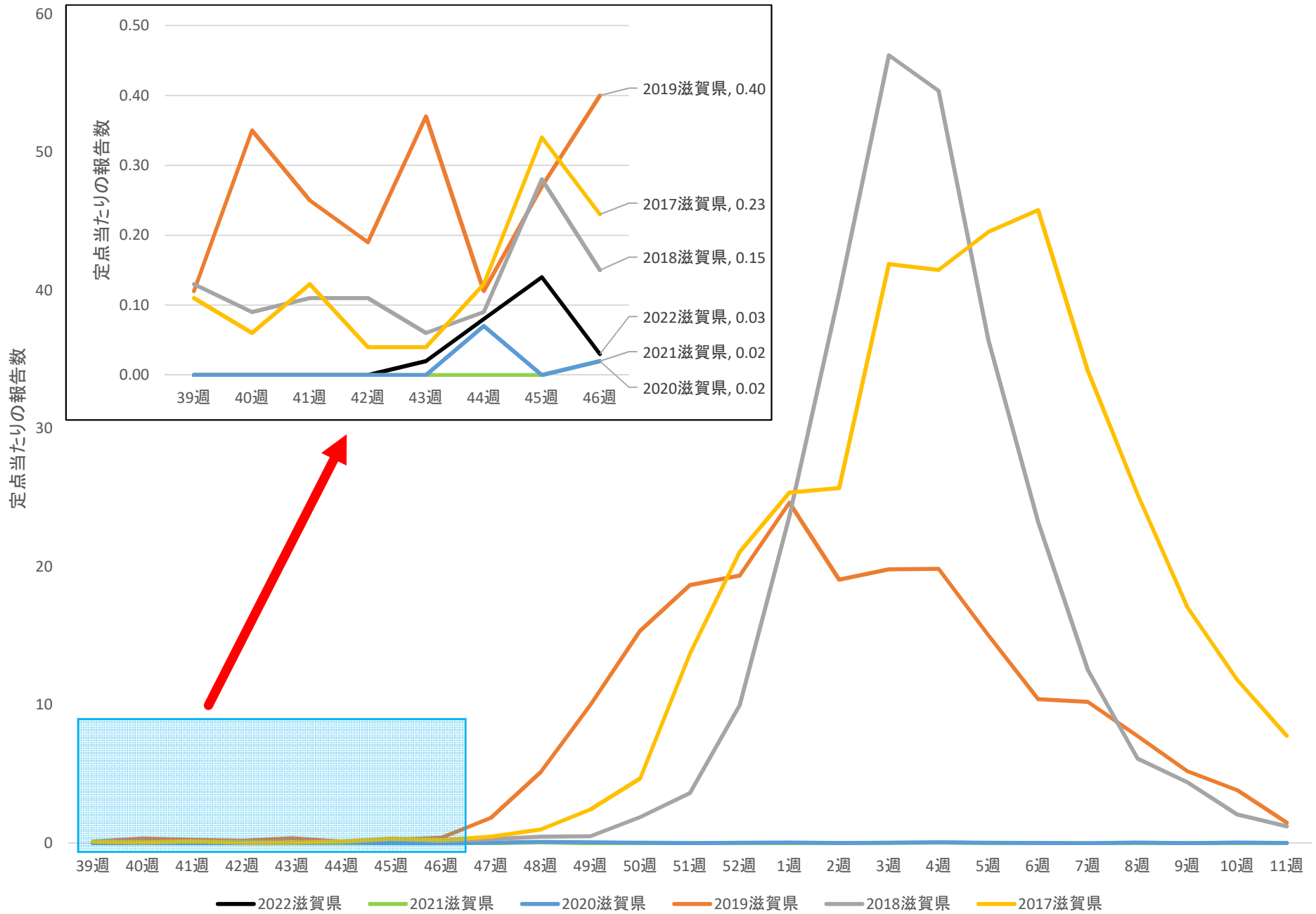
7/1~10/31の死亡者の年代の割合  
(n=144)



11/1~11/24時点の死亡者の年代の割合  
(n=12)



# 滋賀県の季節性インフルエンザ流行状況 2017年～2022年46週(～11/20)



## 評価

- 全国の新規陽性者数は、今夏より急速な増加は見られませんが、増加傾向が続いています。
- 本県も同様に 11月24日時点で今週先週比は1.18、直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数は450.7人と急速な増加は見られませんが、増加傾向が続いています。年代別では、全ての年代で増加傾向が見られ、特に10歳代以下で高い水準となっています。第7波の初め（7月上旬）には、10歳代以下の急速な増加後、各年代に増加が見られたことから、その感染動向に注視が必要です。
- 最大確保病床に対する占有率は11月24日時点で53.7%と増加してきており、また中等症患者数が増加傾向にあります。重症病床の占有率は5.8%と低い水準にあります。
- 場面に応じたマスク着用、常時換気、手指消毒など基本的な感染対策は継続してお願いします。特に高齢者等ハイリスクの方との関わりがある方は、より慎重に感染対策を実施するようにしてください。
- 高齢者施設等で感染者が増加傾向にあります。施設内感染の予防を徹底する必要があります。また、陽性者が施設内で療養する場合であっても治療を提供できるように、嘱託医や協力医療機関と事前に調整しておくことが必要です。
- 令和5年1月16日まで「年末年始ワクチン接種促進強化期間」です。ワクチンの効果は徐々に減弱するので、オミクロン株対応ワクチンを接種していない方は、この期間にもう1回のワクチン接種を検討してください。インフルエンザワクチンとの同時接種も可能です。
- 冬期にインフルエンザとの同時流行が懸念されています。本県の先週(11/14～11/20)のインフルエンザ定点当たりの報告数は0.03と低い水準となっています。

# 第8波による病床ひっ迫に備えた医療体制の確保

## 医療体制の現状（11月24日現在）

現時点の確保病床（405床）の占有率	66.4%
最大確保病床（501床）の占有率	53.7%
うち重症者病床の占有率	5.8%

- 今後の急激な感染拡大が予測される状況下であり、病床のひっ迫に備えて緊急的な対応に移行する。
- 緊急的な対応に早期に移行し、入院医療体制をしっかりと機能させることで、感染拡大時であっても安心して療養していただける体制をあらかじめ確保する。

### 緊急的な対応

- ① 計画上の**最大病床数501床を運用できるよう11月21日に医療機関に要請。**
- ② **コントロールセンターの人員を増強するとともに移送手段についても増強し、感染拡大に対応できる入院・搬送調整機能を確保。**

# 変異株にかかるゲノム解析状況について

## ■全国の状況について

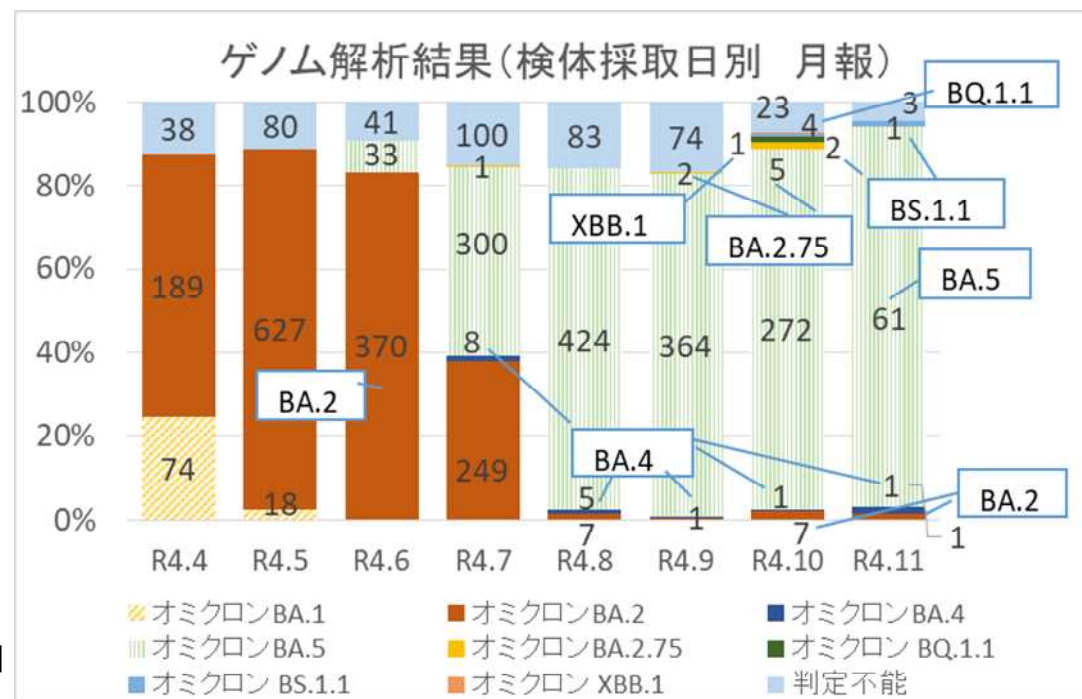
感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス(SARSCoV2)の変異株について(第22報)(2022年11月18日 国立感染症研究所)抜粋

【BA.5系統、BQ.1系統、BS.1系統】

- オミクロンの中では多くの亜系統が発生しているが、BA.5系統が74.5%、BA.4系統が4.1%、BA.2系統が7.3%(いずれも亜系統を含む)と、引き続き世界的にBA.5系統が流行の主流となっており(WHO,2022a)、日本国内でも2022年7月頃にBA.2系統からBA.5系統に置き換わりが進み、現在もBA.5系統が主流となっている。
- 世界各地でBA.2系統やBA.5系統を起源とする亜系統が多数発生し、それらの有するスパイクタンパク質の変異から、中和抗体からの逃避能の上昇が懸念されている。局所的に優位な増加をみせる亜系統も報告されているが、特定の変異株が世界的に優勢となる兆候は見られない。
- BQ.1系統およびBS.1系統、XBB系統ともに、中和抗体からの逃避が示唆されているが、国内外での報告数が少ないことから、感染者数増加の優位性、重症度、治療薬の有効性への影響についての明らかな知見はなく、今後の国内外での検出状況、感染者数や重症者数の推移を注視する必要がある。

## ■滋賀県内の状況について

- 7月21日に県内で初めてBA.5系統が確認され、**11月24日時点で計1,454件が確認されている。**
- 本県では、1月1日から11月24日までに5,910件のゲノム解析結果が判明しており、うちBA.5系統は、5月時点で0%であったところ、8月時点で81.7%、10月時点で86.3%、**11月時点で91.0%**を占めるなど、感染の主流系統がBA.2系統からBA.5系統に置き換わったと考えられる。
- 本県でもBA.2系統やBA.5系統を起源とする亜系統(BA.2.75、BQ.1.1、BS.1.1、XBB.1)が確認されているが、BA.5系統からの置き換わりが生じている兆候はみられていない。
- 引き続き、検出状況に注視する必要がある。



# レベル判断指標等の見直しについて ～「コロナとのつきあい方滋賀プラン」～

資料 2 - 1

## 現在のレベル判断指標

### 【現在のレベル判断指標の考え方】

- 県民の皆様にとってできる限りわかりやすいものとするという観点から、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会（以下「分科会」という。）で提言（令和3年11月8日）のあった「レベル分類」の考え方をベースとする。
- 分科会からの提言においてはレベル3の判断指標のみ提示されていたことから、レベル2以下の判断指標を県として独自に設定
- オミクロン株の特徴を踏まえ、**レベル2の判断指標について、新規報告者数ではなく病床の使用率とするなど、より医療のひっ迫状況を重視する見直し**を行った（令和4年6月15日）。

## 国の分科会（令和4年11月11日）におけるレベル分類の見直し

- オミクロン株の特徴を踏まえ、感染状況は参考とし、外来医療のひっ迫状況など、より保健医療の負荷の状況に着目したレベル分類に見直し、各段階に応じた感染拡大防止措置を講ずる。
- 5段階（レベル0～4）のレベル分類を4段階（レベル1～4）に見直し。
- レベル1・2・4における病床使用率の目安が示される。
- あらたに「保健医療の負荷の状況」などの事象を利用したレベル判断が示される。

## 見直しの考え方等

### 【レベル分類の判断指標等の見直し】

- 国と同様、5段階（レベル0～4）のレベル分類を**4段階（レベル1～4）に見直し**
- **病床の使用率をレベル1の判断指標としても設定するとともに、レベル2の判断指標としている数値を見直し**
- **新規報告数については、参考指標とする。**
- レベル判断については、最大確保病床および重症者用の最大確保病床の使用率と併せて、保健医療の負荷の状況などの「事象」を勘案し、**これまでどおり総合的に判断する。**

### 【感染拡大防止対策の移行イメージ・対策例（コロナとのつきあい方滋賀プラン）の見直し】

- 上記レベル分類（5段階→4段階）への見直しなどを踏まえた見直し

## レベル判断指標(見直し案)

- 各レベルの判断については、参考指標や外来医療のひっ迫状況等も考慮し、総合的に判断を行う。判断にあたっては、専門家の意見も聴取

判断指標		レベル1 感染小康期	レベル2 感染拡大初期	レベル3 医療負担増大期	レベル4 医療機能不全期
医療体制等への負担	① 最大確保病床の使用率	30%未満	30%以上	50%以上	入院が必要な新型コロナウイルス感染症患者へ入院加療を提供できない状態
	② 重症者用の最大確保病床の使用率	—	—	50%以上	—

### 【参考指標】

・1週間当たりの人口10万人当たりの新規報告数 ・直近1週間と先週1週間の比較 ・実効再生産数(Rt) ・PCR等検査陽性率  
 ・入院率 ・大阪府、京都府等の近隣府県の感染状況

### 【判断に係る事象】

・発熱外来ひっ迫状況 ・入院医療ひっ迫状況 ・救急搬送ひっ迫状況

## 現在のレベル判断指標(参考)

- 各レベルの判断については、参考指標も考慮し、総合的に判断を行う。判断にあたっては、専門家の意見も聴取

判断指標		レベル4 避けたいレベル	レベル3 対策を強化すべきレベル	レベル2 警戒を強化すべきレベル	レベル1 維持すべきレベル <small>(安定的に一般医療が確保され、新型コロナウイルス感染症に対し医療が対応できている状況)</small>	レベル0 感染者ゼロレベル
医療体制等への負担	① 最大確保病床の使用率	入院が必要な新型コロナウイルス感染症患者へ入院加療を提供できない状態	50%以上	20%以上	—	—
	② 重症者用の最大確保病床の使用率	—	50%以上	—	—	—
感染状況	③ 新規報告数	—	—	—	レベルアップ時 10人以上/10万人/週 レベルダウン時 減少傾向	10人未満/10万人/週

### 【参考指標】

・大阪府、京都府等の近隣府県の感染状況 ・直近1週間と先週1週間の比較 ・実効再生産数(Rt) ・人口10万人当たりの全療養者数  
 ・入院率 ・感染経路不明割合 ・PCR等検査陽性率



## 現在のレベルについて

現在、新規報告数の増加傾向に伴い、最大確保病床の使用率が徐々に上昇し、50%を超過したところであり、外来医療も含め、医療提供体制への負荷が高まり始めていると考えられる。一方で、重症者用の最大確保病床の使用率は低い値を維持しているため、本県における現在の状況は「レベル2」であると判断する。

判断指標		レベル2の基準	レベル1の基準	現在の状況 (11月24日時点)
医療体制等への負荷	① 最大確保病床の使用率	30%以上	30%未満	(53.7%)
	② うち重症者用病床	—	—	(5.8%)

## 感染拡大防止対策

■ 感染拡大防止対策は、本県の感染状況や国の基本的対処方針等を踏まえ、柔軟に対応。

なお、施設の使用制限等を行う場合においても、状況に応じて認証制度やワクチン・検査パッケージ等の適用による制限の緩和等を行う場合がある。

### 【対策移行のイメージ】

レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
呼びかけ (※感染状況等に応じ、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく要請等)	基本的な感染対策の実践			
	外出関連		感染状況などにあわせ、地域・対象施設などを検討	
	イベントの開催上限の目安等	感染状況などにあわせ、規模などを検討		
	施設の使用制限(休業、時短等)			感染状況などにあわせ、対象の地域・業種などを検討

# 各ステージにおける感染拡大防止対策(例)

## ■対策例

レベル1

基本的な感染対策等呼びかけ

レベル2

基本的な感染対策等について要請等

(例)

- 基本的な感染対策(手洗い、場面に応じたマスクの着用、密の回避など)の徹底
- ワクチン接種の積極的な検討
- 感染に不安を感じる無症状の方は無料検査の受検を

など

レベル3

以下について要請等

(例)

- 基本的な感染対策(手洗い、場面に応じたマスクの着用、密の回避など)の徹底
- 体調に違和感がある場合は、自宅で休養し、外出・出勤等を控えることを徹底
- 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出などは慎重に
- 外出・移動は必要不可欠なものに限ること
- 感染に不安を感じる無症状の方は無料検査の受検を

など

レベル4

※ まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が適用される場合には、より強い要請も

# 「コロナとのつきあい方滋賀プラン」 に基づく対応について

(令和4年11月25日)

## ■ 「レベル2」へ移行

### いま一度、基本的な感染対策の徹底を!!

**発熱などへの備えもお願いします！**

#### 基本的な感染対策を ~ ワクチン接種後も継続 ~

- 場面に応じたマスクの着用、密の回避(冬でも常時換気、距離の確保)、手指消毒などの徹底を！
- コロナに負けない健康づくりを！



#### ワクチン接種について

- 12歳以上で、従来型ワクチンを2回目、3回目、4回目まで接種済の方、オミクロン株に感染後回復された方、受験や就職、帰省などを予定されている方は、**年内にもう1回だけオミクロン株対応ワクチンの接種の検討を！**

#### 発熱などに備えて

- 抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の早めの常備を！
- 電話相談窓口などの連絡先の確認や生活必需品などの用意を！

#### 会食について

- **忘年会など**の会食は**認証店舗**で感染リスクを下げる工夫を！



#### 無料検査の受検について(~当面の間)

- 感染不安を感じる無症状の方は、無料検査実施事業者での検査受検を！

# ワクチン接種・新型コロナ抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の準備を

**!** 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

## 早めの接種をご検討ください



- ・新型コロナワクチンの接種  
早めの接種をお願いします。
- ・インフルエンザワクチンの接種  
65歳以上の方などの定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。

※ワクチンに関する情報はこちら



新型コロナ



インフルエンザ

## 発熱などの体調不良に早めに備えましょう



- ・新型コロナ抗原定性検査キットの常備
- ・解熱鎮痛薬の常備

※かかりつけ薬剤師・薬局・ドラッグストアにご相談ください。



市販の解熱鎮痛薬について

## 国が承認した新型コロナ抗原定性検査キットを選びましょう



医療用



一般用



研究用

検査キットの一覧を掲載しています



医療用



一般用

※「研究用」ではなく「医療用」もしくは「一般用」のキットをご使用ください。

## 事前に確認しておきましょう

### 受診・相談センター

(大津市にお住まいの方) 077-526-5411

(大津市以外にお住まいの方) 077-528-3621

### 小児救急電話相談 (#8000または077-524-7856)

【対象者】県内在住の15歳以下のお子様

相談日時 平日、土曜日 (18:00~翌8:00)

日曜、祝日、年末年始 (9:00~翌8:00)

※救急車利用マニュアルについてもご参照ください。

※その他、生活必需品など(体温計・日持ちする食料(5~7日分))も用意しておきましょう。



受診・相談センター



救急車利用マニュアル

# 新型インフルエンザ等対策特別措置法 第24条第9項に基づく要請について

令和4年(2022年)11月25日  
滋賀県新型コロナウイルス  
感染症対策本部

新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づき、下記のとおり協力の要請を行う。

## 記

### 1 感染対策の徹底等

- ・ 基本的な感染対策(手洗い、マスクの着用(※)、密の回避(冬でも常時換気、距離の確保)など)の徹底
- ・ 忘年会などの会食は認証店舗で感染リスクを下げる工夫をして行う。
- ・ 家庭でも、咳エチケット、常時換気、取手・ノブなどの共用部分の消毒等、感染対策を徹底
- ・ 発熱等の症状がある場合は、自宅で休養
- ・ 抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の常備
- ・ 電話相談窓口などの連絡先の事前確認、生活必需品などの用意

### 2 施設・事業所における感染防止策の徹底

- ・ 業種別感染拡大予防ガイドラインに基づく感染防止策の徹底。利用者にも感染防止策への協力を依頼
- ・ テレワーク・時差出勤の活用など職場での感染対策を行う。

### 3 無料検査の受検について(当面の間)

- ・ 感染リスクが高い環境にある等のため感染不安を感じる無症状の方(※)は、無料検査実施事業者での検査を受検

※ 滋賀県在住者。ワクチン接種の有無は問わない。

## 4 イベント開催について(当面の間)

(1) イベントを開催する場合は以下の目安で開催

<基本的な考え方>

必要な感染防止策が担保される場合には、収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度(両方の条件を満たす必要)とする。

時期	感染防止安全計画 <sup>(※1)</sup> を策定したイベント	左記以外のイベント
当面の間	【人数上限】 収容定員まで	【人数上限】 ① 収容定員 10,000 人超 ⇒収容定員の 50% ② 収容定員 10,000 人以下 ⇒5,000 人
	【収容率】 「大声あり」 <sup>(※2)</sup> エリア	50%以内 〔収容定員が設定されていない場合は 十分な人と人との間隔(最低1m)〕
	「大声なし」エリア	100%以内 〔収容定員が設定されていない場合は 人と人が接触しない程度の間隔〕

※1 参加人数が 5,000 人超かつ収容率 50%超の大規模イベントを対象に、イベント開催時に必要な感染防止策を検討・記載し、県がその内容の確認および必要な助言等を行うことにより、感染防止策の実効性を担保するもの。基本的には「大声なし」のイベントにおいて作成できるものとするが、「大声あり」「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合も作成できる。

※2 「大声」を「観客等が、①通常より大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する、または必要な対策を十分に施さないイベント

(2) 感染防止安全計画の策定等について

- ① 感染防止安全計画を策定にあたり、県 HP を確認の上、所要の手続きを行うこと。
- ② 感染防止安全計画を策定したイベントは、イベント終了後、1か月以内を目途に、結果報告書(県 HP に掲載の様式)を県に提出すること。
- ③ 感染防止安全計画を策定しないイベントについては、感染防止策等のチェックリスト(県 HP に掲載の様式)を作成・公表し、イベント終了日より1年間保管すること。

(3) 業種別ガイドラインについて

イベント主催者等は、(2)の策定等に関わらず、業種別ガイドラインの対策を実践すること。

【滋賀県新型コロナ対策相談コールセンター】

- 電話番号:077-528-1344
- 開設時間:9:00~17:00(平日のみ)

## □ 第7波はオミクロン株(BA.5)の流行により感染が拡大

### 第7波の特徴

- ✓ 第6波が十分に収束していない状況での急激な感染拡大

10万人あたりの新規陽性者数が75人から500人を超えるまでの日数 第6波27日→第7波19日

- ✓ 過去最大の新規陽性者数 1日最大3,281人(R4.8.19)
- ✓ 陽性者の増加に伴う自宅療養者の増加 最大25,886人(R4.8.11)
- ✓ 重症者・死亡者の割合に大きな変化は見られなかった

第6波0.17%、第7波0.13%

### 保健・医療提供体制への負荷が増大

- ✓ 検査件数、相談件数の増加
- ✓ 外来のひっ迫
- ✓ 病床のひっ迫、65歳以上の入院患者の割合増加 など

加えて、冬の季節性インフルエンザとの同時流行に備える必要

# 次の感染拡大に備えた主な取組み

令和4年10月17日付厚生労働省事務連絡「季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制等の整備について」等に基づき、第7波の課題を検証し、課題解決に向けた取組を実施。また、季節性インフルエンザとの同時流行を想定し、特に発熱外来をはじめとする外来医療体制の強化を図る。

## 外来医療体制の強化

- 同時流行が生じた場合の患者数の想定および診療能力強化のための支援の検討
- 検査キット配布・陽性者登録センター、新型コロナ診断後申告窓口の対応能力を拡充
- 同時流行に備えた物資の支援
- 相談窓口の強化
- 同時流行に備えた県民への協力の呼びかけ

## 入院医療体制の強化

- 病床・宿泊療養施設確保計画の見直し
- 新たな高齢者等のための宿泊療養施設の開設

## 自宅療養体制の強化

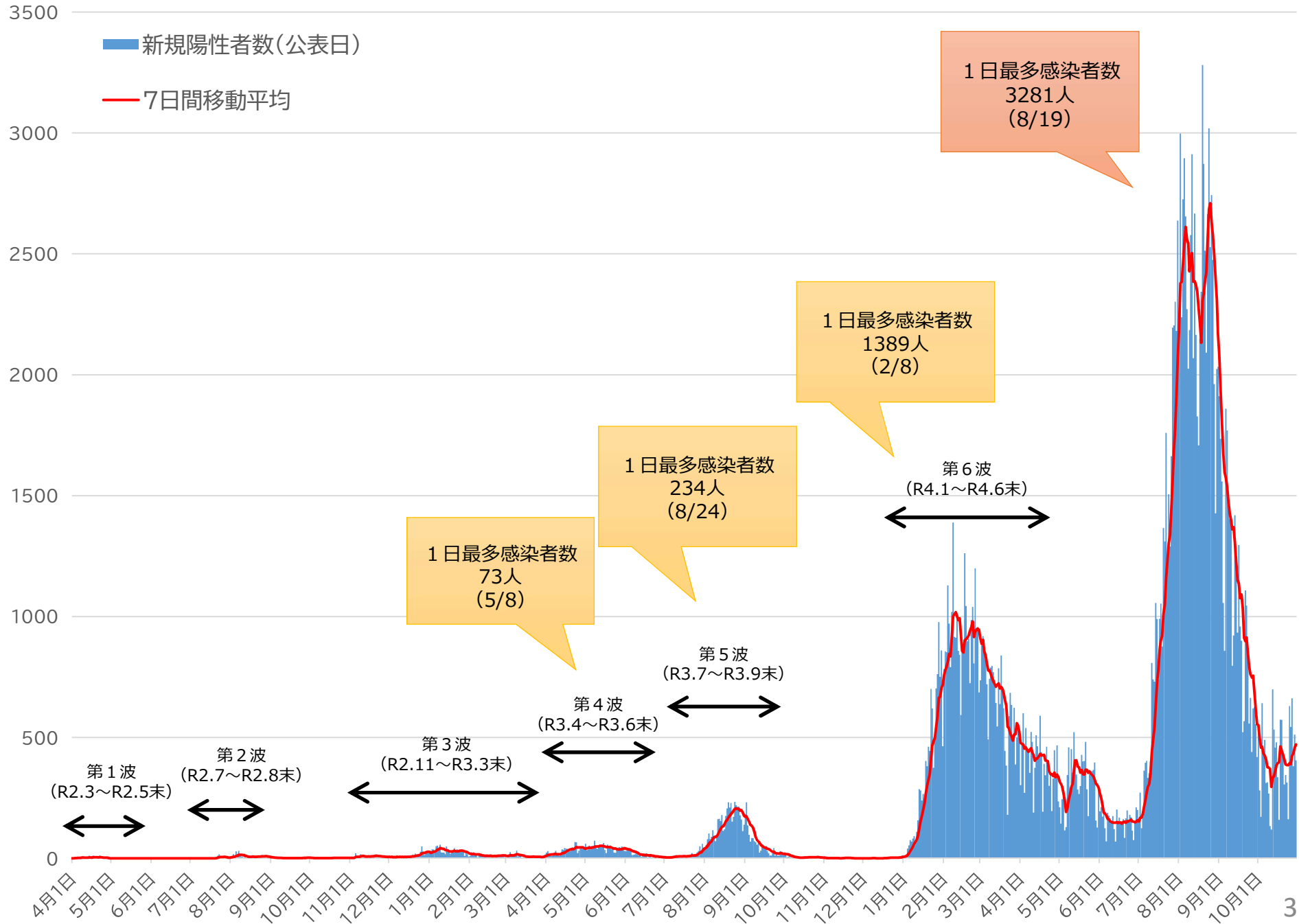
- 自宅療養者等支援センターの対応能力を拡充

## 高齢者施設等に対する支援

- 施設内陽性者発生時の迅速・的確な対応の推進



# 滋賀県 第1波～第7波の流行曲線(公表日)



---

<MEMO>

## 【取組Ⅰ】外来医療体制の強化

### ① 同時流行の想定と外来医療体制の強化について

- 令和4年10月17日付け国事務連絡「季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制等の整備について(依頼)」に基づき、同時流行時に発生する患者数および県内の発熱外来をはじめとする外来医療体制の診療能力等を把握
- 不足する外来医療体制への対応を検討

#### 【1. 同時流行が生じた場合の患者数の想定】

- 国が示す試算モデルを用いて、第7波における全国最大患者数(人口10万対)や県内の過去最大のインフルエンザ患者数等から算出

項目	合計	新型コロナ	季節性インフル
1) 新型コロナ及びインフルエンザの1日当たりの患者数	9,105人	4,977人	4,128人
2)	① うち65歳以上の者	493人	462人
	② うち中学生～64歳の者	3,444人	2,163人
	③ ②のうち基礎疾患を有する者	172人	108人
	④ うち小学生以下の者	1,040人	1,503人
3) 発熱外来に受診する発熱患者数(陽性者登録センターに登録見込みの482人を引いた人数)	8,623人	4,495人	4,128人

## 【2. 現在の外来医療体制の診療能力】

- 令和4年10月に実施した県内医療機関に対するアンケート調査結果等を基に算出

項目	平日	土曜	日曜祝日
① 発熱外来等における1日の診療可能人数	11,790人	5,959人	1,862人
② 発熱外来以外の小児科標榜医療機関における1日の診療可能人数	198人	162人	142人
③ 地域外来・検査センターにおける1日の診療可能人数	259人	0人	0人
④ 検査キット配布・陽性者登録センター・新型コロナ診断後申告窓口における1日の登録可能人数	300人	300人	300人
⑤ 自宅療養者等支援センターにおける1日の体調悪化時等の相談可能人数	1,930人	1,930人	1,930人

## 【3. 想定される患者数等と診療能力・対応能力の見込みの比較】

- 「1. 同時流行が生じた場合の患者数の想定(1の3)」から「2. 現在の外来医療体制の診療能力(2の①+②+③)」を差し引きして算出

項目	平日	土曜	日曜祝日
想定される患者数と診療能力の見込みの差分	0人	2,502人	6,619人

#### 【4. 同時流行時の外来医療体制の分析】

- 同時流行が生じた場合の患者数想定と現在の診療能力の比較から、平日においては現在の外来医療体制で耐えうると想定。
- 一方で、土日・祝日の外来医療体制の不足状況を踏まえると、特に、年末年始においては多くの診療所が長期間休みとなることから、医療へのアクセスが長期間困難となり、休日急病診療所や救急外来等がひっ迫する恐れがある。

#### 【5. 対策の方向性】

- 同時流行を想定し、各医療機関に対して土日・祝日や年末年始の診療協力を呼び掛けるとともに、年末年始に開設している医療機関等に対して以下の支援を実施。
  1. 医療機関および薬局に対する開設支援
  2. 休日急病診療所へ抗原定性検査キットの無償譲渡
- 保健所圏域の特性に応じ、関係団体等と連携して年末年始の外来医療体制確保に向けて働きかける。

#### 【6. その他の外来医療体制強化の対応】

- 診療時間の拡大や新たな診療・検査医療機関の指定の呼びかけ
- 発熱外来以外の小児科標榜医療機関に対し、小児の発熱患者の対応依頼
- 地域の実情を反映した年末年始における地域外来・検査センターの開設

## ② 検査キット配布・陽性者登録センター、新型コロナ診断後申告窓口の対応能力の拡充

- 同時流行が生じた場合でも、外来ひっ迫を緩和し、必要な人に必要な医療が提供されるよう、医療機関や県民に対して配布する抗原定性検査キットの備蓄量を増やすとともに、配布体制を強化。
- 同時流行が生じた場合を想定し、発生届対象外患者からの申告を受け付ける新型コロナ診断後申告窓口における人員体制等を強化し、1日に受付可能な申告数を増強。

事業名	項目	第7波までの体制	同時流行に向けた強化策
医療機関向け検査キット配布	検査キットの備蓄量	4,000テスト (国配布分:176,700テスト)	181,440 テスト
検査キット配布・陽性者登録センター	検査キットの備蓄量	(国配布分:108,300テスト)	152,055テスト
	配布可能数	約1,000件/日	約2,700件/日
新型コロナ診断後申告窓口	陽性者の申告受付可能数	約1,200件/日	約2,000件/日

### ③ 医療機関に対する物資の支援

#### 個人防護具の配布

##### (1) 緊急配布体制の維持

- 個人防護具は、原則、医療機関により調達いただいているが、急な需要の増加等により、調達が一時的に困難になった医療機関に対して、要請に応じて国および県から個人防護具(マスク、ガウン、手袋、フェイスシールド)を引き続き配布する。

##### (2) 季節性インフルエンザの同時流行に備えた体制整備

- (1)の緊急配布に加えて、季節性インフルエンザの流行に備え、診療・検査医療機関(病院および診療所)に対し、国および県から個人防護具を配布する。
- 令和4年11月から令和5年3月の間に、計4回配布予定で、1回目の配布については既に希望数量調査を行っており、11月下旬に配布予定。

#### ○配布スケジュール(予定)

10月	11月	12月	1月	2月
①希望調査(済)	②希望調査	③希望調査	④希望調査	
	①配布	②配布	③配布	④配布

### ④ 相談体制の強化

- 感染拡大時にスムーズな人材確保を可能とするため、9月中旬に看護師等の有資格者のみの対応から、専門知識が不要な相談は事務職員が対応する体制に変更。
- 次の感染拡大に備え、12月から相談受付の最大電話回線数を14回線から30回線まで増設予定。

## ⑤ 県民に対する情報提供と協力等の呼びかけ

### (1) 診療・検査医療機関(発熱外来)・相談窓口の情報提供

#### ■ 滋賀県ホームページにおいて情報提供

- 診療・検査医療機関は、市町や学区別に掲載するとともに、医療機関ごとに情報を掲載することで、検索しやすく見やすくしている。
- 発熱などの症状がある場合の相談・受診・自己検査の流れについて、フロー図を用いてわかりやすく説明。

### (2) ワクチン有効性・安全性、早期接種の呼びかけ

#### ■ 新型コロナワクチン「年末年始ワクチン接種強化期間」の実施

### (3) 同時流行に備えた呼びかけ

- ワクチン接種や新型コロナ抗原定性検査キット、解熱鎮痛薬の準備、受診・相談センター、#8000(小児救急電話相談)等の電話相談窓口等の連絡先の事前確認について、リーフレットで呼びかけを実施。
- 感染状況を踏まえ、重症化リスクの高い方は受診、低い方はセルフチェックの対応を取っていただくよう呼びかけを実施予定。



# 同時流行に備えた呼びかけ用リーフレット

## 全員対象

**滋賀県**

この冬は、ワクチン接種・新型コロナウイルス抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の準備を

**!** 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

**感染が拡大する前の接種をご検討ください**

- ・新型コロナウイルスの接種  
早めの接種をお願いします。
- ・インフルエンザワクチンの接種  
65歳以上の方などの定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。

**発熱などの体調不良に早めに備えましょう**

- ・新型コロナウイルス抗原定性検査キットの常備
- ・解熱鎮痛薬の常備

※かかりつけ薬剤師・薬局、ドラッグストアにご相談ください。

**国が承認した新型コロナ抗原定性検査キットを選びましょう**

検査キットの一覧を掲載しています。

体外診断用医薬品 第一類医薬品 研究用

※「研究用」ではなく「医療用」もしくは「一般用」のキットをご使用ください。

**事前に確認しておきましょう**

電話相談窓口などの連絡先  
受診・相談センターなど相談窓口、救急車利用マニュアルの参照や  
#8000（小児救急電話相談）など

※その他、生活必需品なども用意しておきましょう。  
（体温計・日持ちする食料（5〜7日分）など）

<引用元>  
厚生労働省HP「新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応」

### ①感染が落ち着いている状況

## 重症化リスクの高い方 自己検査ができないお子様用

**滋賀県**

新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方  
（高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など）  
セルフチェック（自己検査）ができない  
お子様と保護者の方へ

**感染が拡大する前の接種をご検討ください**

- ・新型コロナウイルスの接種  
早期の接種をお願いします。
- ・インフルエンザワクチンの接種  
65歳以上の方などの定期接種対象者で、接種を希望される方は早期の接種をお願いします。

**のどの痛みや発熱などの症状が出たら...**

新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方は

**!** 以下の項目や疾患に該当する方は新型コロナウイルスの重症化リスクが高いと考えられます。

- 65歳以上である
- 喫煙歴がある
- 妊婦している
- 肥満（BMI30以上）
- 糖尿病
- がん
- 慢性腎臓病
- 脳血管疾患
- 慢性呼吸器疾患（COPDなど）
- 高血圧
- 脂質異常症
- 心臓病
- 免疫機能の低下の可能性

**速やかに医療機関を受診してください。**

新型コロナウイルス抗原定性検査キットで陽性が確認された場合は、その結果を医師に医師に伝えてください。

かかりつけ医がいる場合 かかりつけ医にご相談ください。

受診が迷った場合 電話相談窓口などをご利用ください。

受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照など

**セルフチェックができないお子様は**

かかりつけ医や小児科医などにご相談ください。

症状は年齢などによって様々です。  
機嫌が悪く、辛そうであれば、慌てず様子を見たり、かかりつけ医にご相談ください。

受診を迷う場合 電話相談窓口などをご利用ください。

夜間や休日の場合 「救急車利用マニュアル」、「こどもの救急」等機関Webサイトの参照や #8000（小児救急電話相談）など

**!** 2歳未満では新型コロナウイルス、5歳未満ではインフルエンザ、基礎疾患のある子どもは年齢にかかわらず重症化リスクがありますので、心配なことがあれば、予めかかりつけ医と連絡を相談しておきましょう。

<引用元>  
厚生労働省HP「新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応」

### ②新型コロナウイルスや季節性インフルの感染拡大の兆しが見える状況

## 重症化リスクの低い方用

**滋賀県**

新型コロナウイルスの  
重症化リスクの低い方へ  
（高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦などとセルフチェック（自己検査）  
ができないお子様以外の方）

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

流行時は、発熱外来の予約が取りづらくなります。  
重症化リスクの高い方を守るため、新型コロナ抗原定性検査キットでのセルフチェックをご活用ください。

**のどの痛みや発熱などの症状が出たら...**

ご自身で国が承認した新型コロナ抗原定性検査キットを用いて検査してください。

体外診断用医薬品 第一類医薬品 研究用

※ご利用可能な検査キットの一覧を掲載しています。

**陽性的場合** 滋賀県検査キット配布・陽性者登録センターに登録して自宅療養をお願いします。

- ・体調変化時には、滋賀県自宅療養者等支援センターにご連絡ください。
- ・検査キットの結果が陽性でも新型コロナやインフルなどに感染している場合があります。感染拡大を防ぐため、体調不良が軽くなるとは、自宅で療養をお願いします。

**受診を迷う場合**

電話相談窓口などをご利用ください。  
受診・相談センターなどの相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や  
#8000（小児救急電話相談）など

**症状が重いなど受診を希望する場合**

お近くの医療機関に電話等でご相談ください。

新型コロナウイルスの早期の接種をお願いします

<引用元>  
厚生労働省HP「新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応」

---

<MEMO>

# 【取組Ⅱ】入院医療体制の強化

## ① 病床・宿泊療養施設確保計画の見直しについて

### ■計画変更

- 病床・宿泊療養施設確保計画について、現在のオミクロン株流行を踏まえた数値に更新。
- 現在の緊急フェーズにおける確保病床数は501床。今後の感染拡大に備えて引き続き緊急フェーズ時の最大確保病床数を維持するとともに、一般医療との両立のためより感染状況に応じたフェーズ移行ができるよう運用基準を見直し。
- 宿泊療養施設については、第7波の課題を踏まえ体制を見直し。新たに高齢者等のための宿泊療養施設を開設(後述)。草津第一ホテルの運用を終了。

**感染急拡大時想定 病床500床 + 宿泊療養施設※518室(うち稼働数450室)**

※ホテルルートイン草津栗東277室、東横イン彦根209室、高齢者等利用32室(ホテルピアザびわ湖16室、ヴォーリス旧病棟16室) = 計518室

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	緊急フェーズ
確保病床	200	280	340	400	500
ホテルルートイン草津栗東	120(100)	120(100)	277(200)	277(238)	277(238)
東横イン彦根	100(85)	100(85)	209(150)	209(180)	209(180)
ホテルピアザびわ湖	16(15)	16(15)	16(15)	16(16)	16(16)
【新】ヴォーリス旧病棟	16(15)	16(15)	16(15)	16(16)	16(16)
合計	452(415)	532(495)	858(720)	918(850)	1018(950)

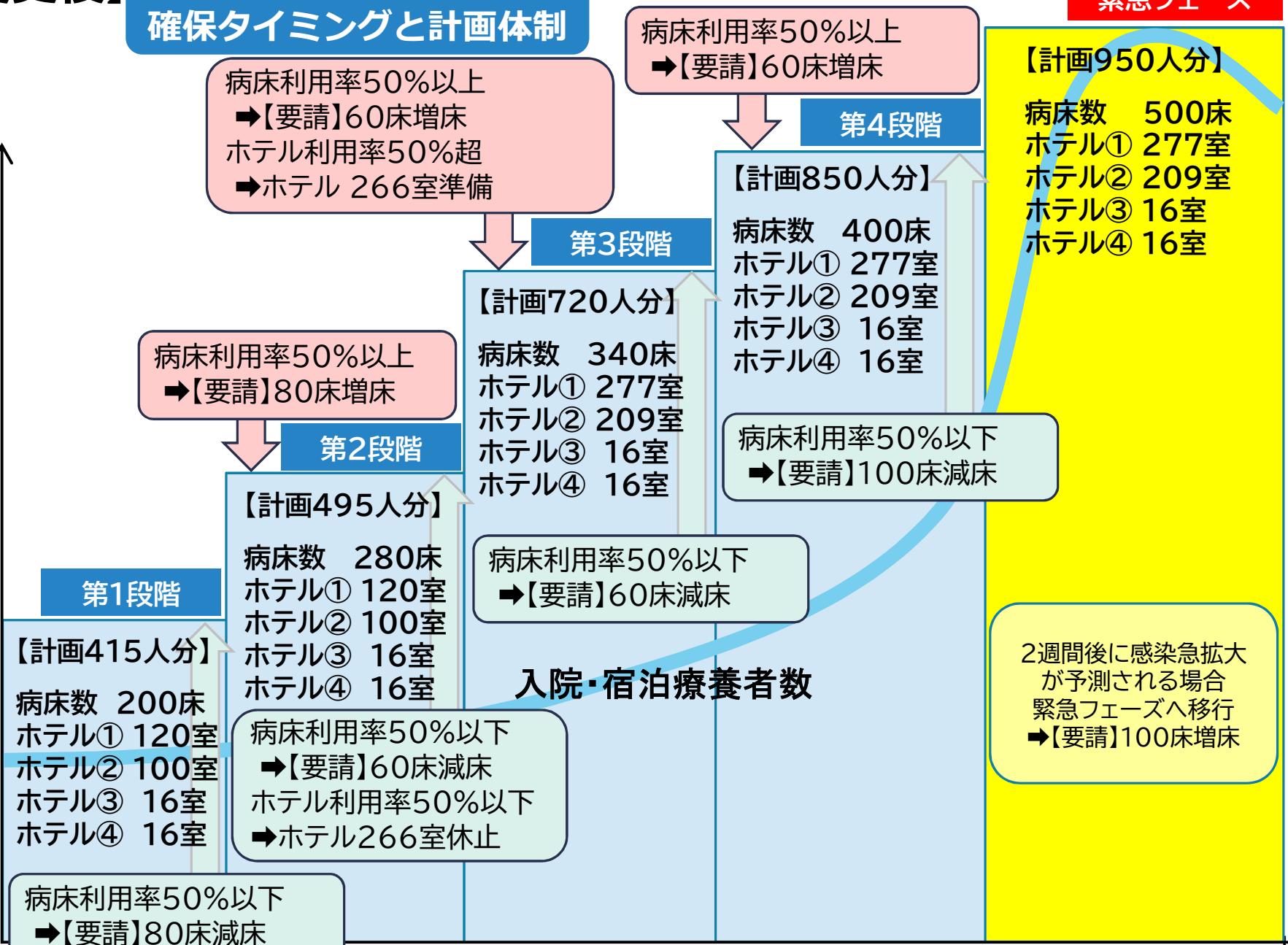
カッコ内が想定療養者数 13

**【変更後】**

**病床・宿泊療養施設  
確保タイミングと計画体制**

**緊急フェーズ**

患者数



入院・宿泊療養者数

時間 14→

## ② 宿泊療養施設の機能強化

### 新たに高齢者等のための宿泊療養施設を開設

#### 受入対象想定

重症化リスクを有するなど特別な配慮を要する高齢者等で、見守りや手助けが必要な軽症患者

- コロナ患者としては軽症であるが、入院対応となっていた方を受け入れることで、受入医療機関の負担軽減を図るとともに、療養中も介助が必要な患者により添った対応を行う。

#### 体制

- 医師・看護師に加え、介護職を配置し手助けが必要な方に対応
- 旧病棟を利用し、常時見守りを行うとともに、食事面・施設面などでも療養者に配慮。
- 必要に応じて経口治療薬等を投与
- 最大16名を受け入れ

**場所** ヴォーリス記念病院(旧病棟)  
(近江八幡市内)

**運用開始予定日** 令和4年12月中旬



新たな高齢者等専用宿泊療養施設外観 場所:ヴォーリス記念病院(旧病棟)

## 【取組Ⅲ】自宅療養体制の強化

### ① オンライン診療、往診等の治療体制、食料品支援体制の確保

- 療養中の症状変化に応じて必要な治療に速やかにつながられるよう、引き続き地域の医療機関等の協力のもと、往診・電話・オンライン診療の実施および適用患者への治療薬の円滑な投与のための体制を確保。新たな経口治療薬が承認された場合にも、処方可能な医療機関・薬局の登録を進め、速やかに投与体制を整備する。
- 災害時に必要な支援を受けられるよう、県・市町間にて療養者の情報共有を継続。
- 食料品支援については、必要とする療養者に速やかに配送できるよう、実施体制を確保するとともに、速やかな支援につなげるため検査キット配布・陽性者登録センター、滋賀県新型コロナ診断後申告窓口への陽性者登録を周知していく。

### ② 自宅療養者等支援センターの対応能力の拡充

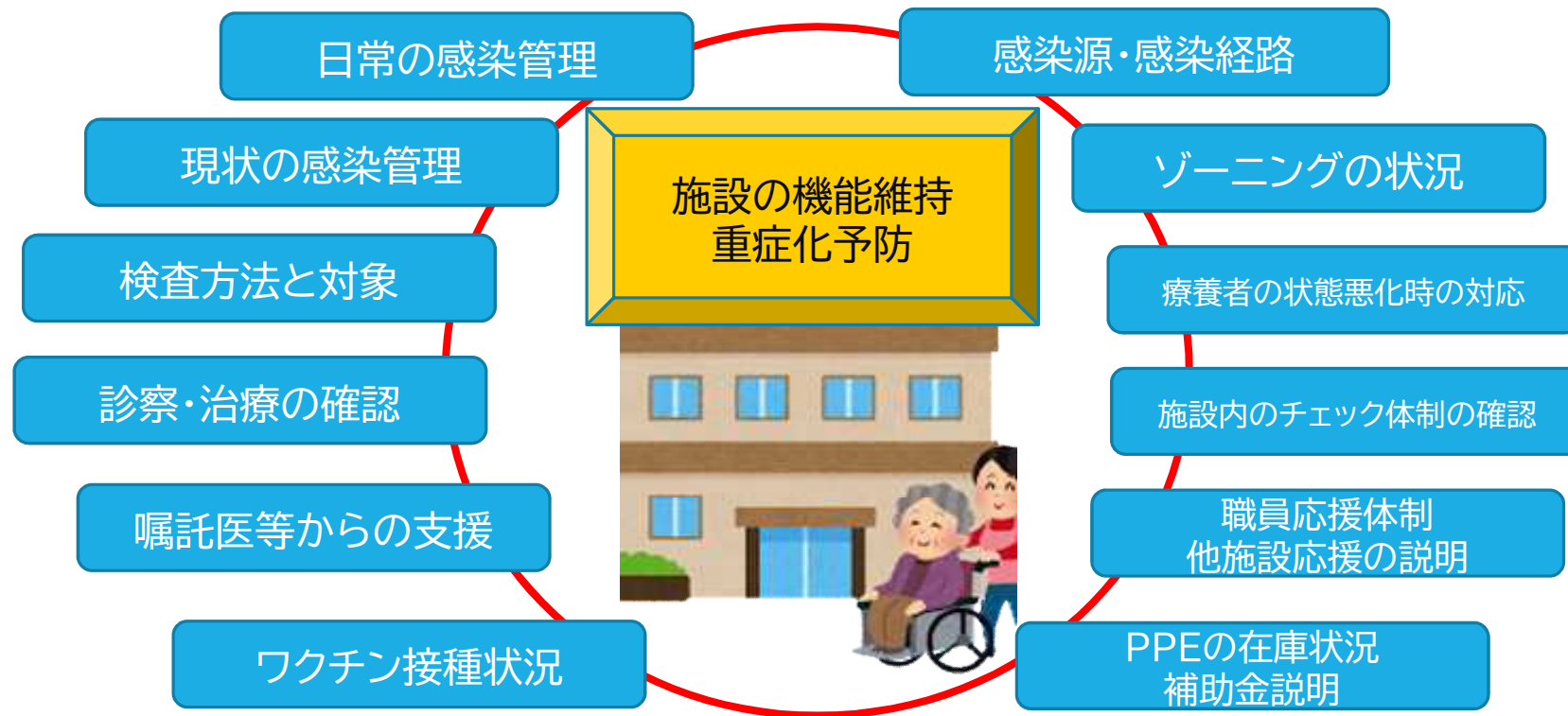
- 陽性者が体調悪化時等に相談可能な「健康フォローアップセンター」として、引き続き24時間体制で稼働し、症状等に応じて受診調整等を行うほか、入院が必要な際には、コントロールセンターを通じた速やかな入院・搬送調整を行う。
- 体調悪化時等の相談先について、陽性者登録時や医療機関での診断時等、機会を捉えて確実な周知に努めていく。
- 今冬の想定陽性者数であっても、体調悪化時等の相談に対応可能な体制(電話回線、人員等)を確保し、感染状況に応じて速やかに対応していく。

## 【取組Ⅳ】高齢者施設等に対する支援

### ①施設内陽性者発生時に迅速・的確に対応するための備え

- 高齢者施設における感染対策の基本およびクラスター対策チームが施設訪問した際に確認する具体的な対策のポイントを広く情報提供する。
- クラスター対策チームが施設訪問時に確認している事項を調査シートおよびチェックリストとしてとりまとめ、保健所と共有することにより、保健所が調査実施する場合の参考資料としての活用および県内統一的な情報収集の実施を図る。
- 利用可能な様々な情報を用いて、施設内療養者の早期探知を図る。
  - ✓ 保健所からの依頼により施設療養の技術的支援を行う。
  - ✓ 新規陽性者を認めた場合にFAXにより施設と関係課で情報共有を行う。
  - ✓ HER-SYSおよびEBS事業の申し込み情報に基づいて施設へ連絡し、療養者の有無を確認する。
- 医療機関に対しては、クラスター対策チームが施設訪問時に確認・提案している事項を国の新型コロナウイルス感染症対策本部の通知と解説資料とを併せて配布することにより、統一的かつ適切な対策の実施を図る。

# 施設内療養等支援による確認事項と対策目標



- 感染管理や対策(基本知識からPPE着脱やゾーニング等)、医療提供(医師との連携や経口抗ウイルス薬投与等)、検査方法と対象、対策確認の方法、職員が不足した際の対応、など幅広い確認および助言を行うことで『施設の機能維持』および『重症化予防』が図れるよう支援を継続する。
- 施設の日常的な対策、対策方針などを加味し、継続できる方法を施設職員との協議により決定している。



## 1. 接種状況

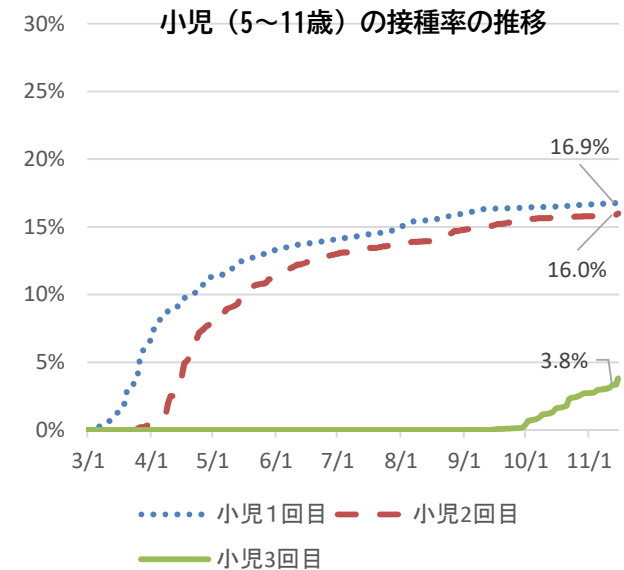
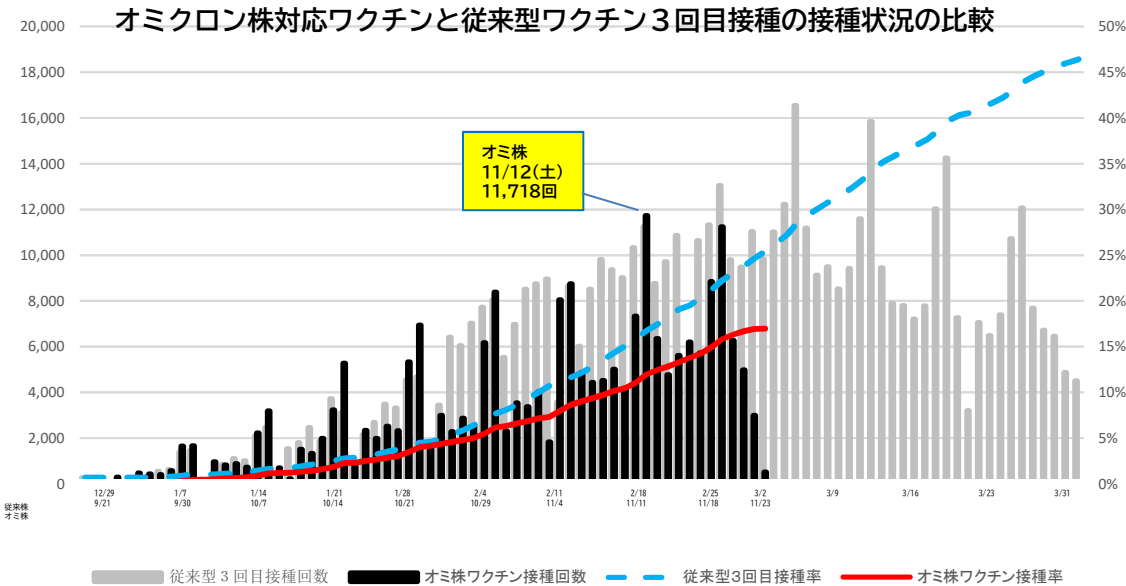
### 県内の接種状況(令和4年11月23日現在)

※人口は、令和4年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口より推計

オミクロン株対応ワクチンの接種状況				
	滋賀県		全国	
	接種回数	接種率 (12歳以上人口)	接種回数	接種率 (12歳以上人口)
12歳以上	214,724	17.0%	18,764,683	16.4%
12-39歳	39,986	9.6%	3,330,238	9.3%
40-64歳	94,822	20.1%	8,409,561	19.7%
65歳以上	79,856	21.3%	7,014,016	19.5%
年齢データなし	60	—	10,868	—

小児(5~11歳)接種の状況				
	滋賀県		全国	
	接種回数	接種率 (5~11歳人口)	接種回数	接種率 (5~11歳人口)
1回目	15,868	16.9%	1,687,329	23.1%
2回目	15,048	16.0%	1,611,794	22.0%
3回目	3,578	3.8%	371,057	5.1%

乳幼児(6か月~4歳)接種の状況				
	滋賀県		全国	
	接種回数	接種率 (6か月~4歳人口)	接種回数	接種率 (6か月~4歳人口)
1回目	137	0.3%	20,352	0.5%
2回目	0	0.0%	101	0.0%
3回目	0	0.0%	0	0.0%



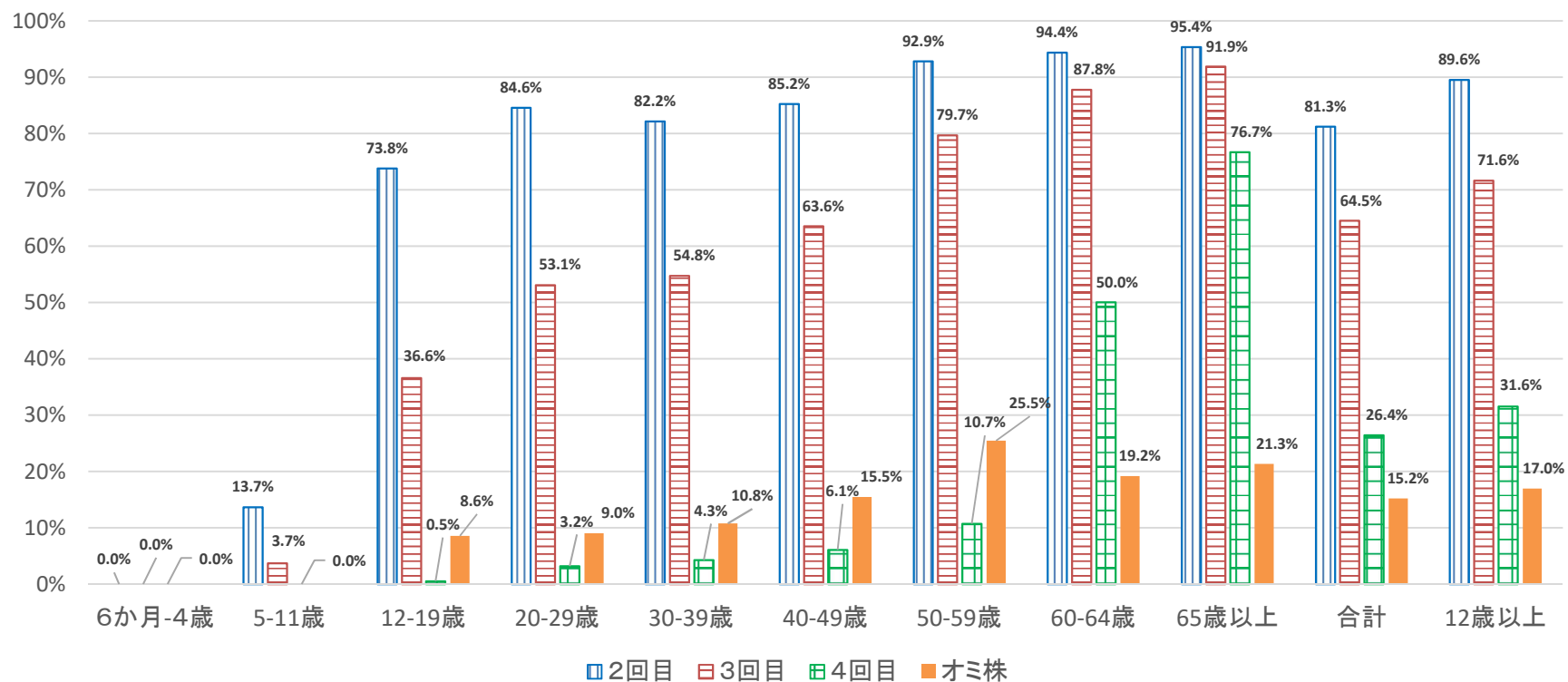
# 1. 接種状況

## ① 県内の年齢層別接種回数(令和4年11月23日現在)

		6か月～4歳	5～11歳	12-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65歳以上	合計	12歳以上 (4回目は18歳以上)
オミクロン株対応ワクチン 接種回数		-	-	9,681	13,032	17,273	31,835	47,615	15,372	79,856	214,724	214,724
従来型 ワクチン 接種回数	4回目 ※18歳以上対象	-	-	144	4,642	6,828	12,510	20,073	40,049	287,065	372,600	372,600
	3回目	0	3,489	41,403	76,673	87,820	130,819	148,831	70,290	343,942	909,523	906,034
	2回目	0	12,866	83,519	122,123	131,750	175,485	173,469	75,563	356,860	1,145,494	1,132,628
対象者数(人)		50,679	94,152	113,138	144,351	160,327	205,850	186,790	80,042	374,222	1,409,551	1,264,720

※対象者数: 令和4年1月1日住民基本台帳による。  
 ※合計、12歳以上には「年齢データなし」を含む。  
 ※従来型ワクチンの4回目接種については、18歳以上が対象。  
 接種率は、18歳以上を対象者として算出。

## ② 県内の年齢層別接種率(令和4年11月23日現在)



# 1. 接種状況

## (1) オミクロン株対応ワクチン(令和4年秋開始接種)

対象者	2回目接種を完了した12歳以上の全ての住民								
使用ワクチン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ファイザー社オミクロン株対応ワクチン (BA. 1、BA. 4/5) ⇒ 対象12歳以上</li> <li>○ モデルナ社オミクロン株対応ワクチン (BA. 1、BA. 4/5) ⇒ 対象18歳以上</li> </ul> <p>(※ モデルナ社BA. 4/5対応ワクチンは11月28日以降開始予定)</p>								
接種回数	1回								
接種間隔	前回の接種の完了から3か月以上 ※10月21日 接種間隔を5か月→3か月に短縮								
県内のワクチン配分状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>メーカー</th> <th>配分回数(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファイザー社ワクチン</td> <td>1,014,390</td> </tr> <tr> <td>モデルナ社ワクチン</td> <td>134,550</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,148,940</td> </tr> </tbody> </table> <p>☑ 対象者の100%を超えるワクチンを配分済み</p> <p>対象者: 1,119,323人 令和4年10月10日現在 12歳以上の2回目接種済者数(VRS)</p>	メーカー	配分回数(回)	ファイザー社ワクチン	1,014,390	モデルナ社ワクチン	134,550	計	1,148,940
メーカー	配分回数(回)								
ファイザー社ワクチン	1,014,390								
モデルナ社ワクチン	134,550								
計	1,148,940								

## (2) 武田社ワクチン(ノババックス)(令和4年秋開始接種)

対象者	初回接種を完了した18歳以上の者
使用ワクチン	武田社ワクチン (ノババックス) ※ 11月8日以降、令和4年秋開始接種(3~5回目)として本ワクチンの接種を1回受けた者は、今後改めてオミクロン株対応ワクチンの接種を受けることができない。 ※ 初回接種(1・2回目)は、12歳以上の者が対象
接種回数	1回
接種間隔	前回の接種の完了から6か月以上
県内のワクチン配分状況	希望する接種施設に配分 4,520回分(12市町 17接種会場) ※追加配送を希望する場合は、最終クールとなる11月28日(月)までに希望量の登録が必要。

## (3) 小児(5~11歳)ワクチン

対象者	5~11歳の者						
使用ワクチン	小児用ファイザー社ワクチン						
接種回数	初回接種 : 2回 追加接種(3回目) : 1回						
接種間隔	2回目接種 : 1回目接種から3週間 3回目接種 : 2回目接種から5か月以上						
県内のワクチン配分状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>メーカー</th> <th>配分回数(回)</th> <th>接種可能人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児用ファイザー社ワクチン</td> <td>218,100</td> <td>72,700</td> </tr> </tbody> </table> <p>☑ 対象者の77.2%が3回目接種可能なワクチンを配分済み</p> <p>対象者: 94,152人 5歳~11歳人口 令和4年 住民基本台帳年齢別人口による</p>	メーカー	配分回数(回)	接種可能人数(人)	小児用ファイザー社ワクチン	218,100	72,700
メーカー	配分回数(回)	接種可能人数(人)					
小児用ファイザー社ワクチン	218,100	72,700					

## (4) 乳幼児ワクチン(6か月~4歳)

対象者	生後6か月~4歳の者						
使用ワクチン	乳幼児用ファイザー社ワクチン						
接種回数	3回						
接種間隔	2回目接種 : 1回目接種から3週間 3回目接種 : 2回目接種から8週間以上						
その他	※令和5年3月31日までの間に接種を完了するためには、原則として1月13日(遅くとも1月15日)までに1回目の接種を実施する必要がある。						
県内のワクチン配分状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>メーカー</th> <th>配分回数(回)</th> <th>接種可能人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児用ファイザー社ワクチン</td> <td>88,700</td> <td>29,567</td> </tr> </tbody> </table> <p>☑ 対象者の58.3%が3回目接種可能なワクチンを配分済み</p> <p>対象者: 50,679人 6か月~4歳人口 令和4年 住民基本台帳年齢別人口による</p>	メーカー	配分回数(回)	接種可能人数(人)	乳幼児用ファイザー社ワクチン	88,700	29,567
メーカー	配分回数(回)	接種可能人数(人)					
乳幼児用ファイザー社ワクチン	88,700	29,567					

## 2.接種体制

### (1)市町のオミクロン株対応ワクチンの集団接種会場①

令和4年11月4日時点

市町名	会場名	会場住所	ワクチンの種類		設置期間
			ファイザー (オミクロン株対応)	モデルナ (オミクロン株対応)	
大津市	大津市ふれあいプラザ	大津市浜大津四丁目1番1号	○		10月19日～
	瀬田公園体育館	大津市一里山六丁目9番1号	○		10月27日～
彦根市	彦根市役所本庁舎	彦根市元町4番2号	○		10月8日～
	くすのきセンター	彦根市八坂町1900番地4	○		10月13日～
	グリーンピアひこね	彦根市清崎町1118番地	○		10月27日～
	みずほ文化センター	彦根市田原町11番地	○		10月8日～
長浜市	西友長浜楽市店	長浜市八幡東町9-1	○		9月26日～
	北部健康推進センター	長浜市高月町渡岸寺160	○		10月14日～
近江八幡市	ホテルニューオウミ	近江八幡市鷹飼町1481	○		9月24日～
				○	9月29日～
草津市	草津市集団接種会場 エイスクエアSARA北館	草津市西渋川一丁目23-1	○		9月30日～
守山市	守山市コミュニティ防災センター（北消防署）	守山市石田町377-1	○		10月26日～
栗東市	アル・プラザ栗東	栗東市糺二丁目3番22号	○		10月8日～
				○	10月21日～
甲賀市	西友水口店	甲賀市水口町水口6084番地1	○		9月30日～
	医療法人社団仁生会 甲南病院	甲賀市甲南町葛木958	○		9月26日～
	信楽中央病院	甲賀市信楽町長野473	○		9月27日～
野洲市	野洲市集団接種会場 (イオンタウン野洲)	野洲市乙窪480番地1	○		10月17日～
湖南市	湖南市集団接種会場	湖南市西峰町1番地1	○		10月19日～

## 2.接種体制

### (1)市町のオミクロン株対応ワクチンの集団接種会場②

令和4年11月4日時点

市町名	会場名	会場住所	ワクチンの種類		設置期間
			ファイザー (オミクロン株対応)	モデルナ (オミクロン株対応)	
高島市	高島市役所（新館）	高島市新旭町北畑565	○		11月26日～
	今津保健センター	高島市今津町弘川204-1	○		11月12日～
	高島健康福祉センター	高島市勝野680	○		10月29日～
	安曇川保健センター	高島市安曇川町田中89	○		11月5日～
	マキノ健康福祉センター	高島市マキノ町蛭口1371	○		11月26日
	やまびこ館	高島市朽木市場792	○		12月3日
東近江市	旧湖東保健センター	東近江市池庄町466	○		10月8日～
	西友八日市店	東近江市八日市緑町9番30号	○		10月29日～
	やわらぎホール	東近江市躰光寺町254番地3	○		12月3日～
米原市	米原市保健センター	米原市長岡1050-1	○		10月1日～
	米原市役所本庁舎	米原市米原1016	○		10月8日～
	地域包括ケアセンターいびき	米原市春照58-1	○		10月6日～
	近江診療所	米原市新庄77-1	○		10月13日～
	市立長浜病院	長浜市大戌亥313	○		11月14日～
日野町	ワクチン接種特設会場	日野町河原一丁目1番地	○	○	10月7日～
竜王町	竜王町公民館	竜王町小口276-1	○	○	10月23日～
愛荘町	愛荘町立愛知川公民館	愛荘町愛知川13番地5	○		10月22日～
				○	10月30日～
豊郷町	豊栄のさと	豊郷町四十九院1252	○		11月3日～
				○	11月3日～
甲良町	甲良町保健福祉センター	甲良町大字在士357-1	○		10月22日～
				○	10月22日～
多賀町	多賀町総合福祉保健センターふれあいの郷	犬上郡多賀町多賀221-1	○		10月24日～

## 2. 接種体制

### (2)市町のノバックスワクチン接種会場 (11月4日現在)

市町名	ノバックス (1~5回目)	市町名	ノバックス (1~5回目)
彦根市	個別接種	甲賀市	個別接種 (個別に対応)
長浜市	個別接種 (個別に対応)	野洲市	個別接種 (個別に対応)
近江八幡市	個別接種 (個別に対応)	高島市	個別接種 (個別に対応)
草津市	個別接種 (個別に対応)	米原市	集団接種
守山市	個別接種 (個別に対応)	愛荘町	集団接種 (個別に対応)
栗東市	個別接種 (個別に対応)		

※詳細については、市町ワクチン接種担当課に御確認ください。  
 ※上記に記載のない市町については、個別に相談をお願いします。

### (3)市町の乳幼児・小児接種会場 (11月4日現在)

市町名	乳幼児 6か月~4歳 (1~3回目)		小児 5~11歳 (1~3回目)	
	集団 接種	個別 接種	集団 接種	個別 接種
	大津市	-	○	-
彦根市	-	○	-	○
長浜市	-	○	○	○
近江八幡市	-	○	-	○
草津市	-	○	-	○
守山市	-	○	-	○
栗東市	-	○	-	○
甲賀市	-	○	-	○
野洲市	-	○	-	○

市町名	乳幼児 6か月~4歳 (1~3回目)		小児 5~11歳 (1~3回目)	
	集団 接種	個別 接種	集団 接種	個別 接種
	湖南市	-	○	○
高島市	-	○	-	○
東近江市	-	○	○	○
米原市	○	-	○	-
日野町	-	調整中	-	○
竜王町	○	-	○	○
愛荘町	-	個別に 対応	○	個別に 対応
豊郷町	-	○ ※	-	○ ※
甲良町	-		-	
多賀町	-		-	

※3町合同で実施

## 2. 接種体制

### (4) 県広域ワクチン接種センターの概要

接種会場	南部会場	Oh! Me 大津テラス3階 (大津市打出浜14-30)																																									
	北部会場	フレスポ彦根 敷地内 (彦根市松原町1917-1)																																									
実施期間	令和4年10月14日(金)～令和5年3月20日(月) ※ 金・土・月曜日の週3日(12月30日～1月2日を除く)																																										
接種対象者	<p>接種券をお持ちの満18歳以上で、 2回目の接種を完了し、 前回の接種後3か月以上経過した 以下のいずれかに該当する方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県内に住民票のある方</li> <li>・滋賀県内に通勤・通学されている県外在住の方</li> <li>・滋賀県内に本拠を置く事業所・学校に在籍する 県外在住の方</li> <li>・県外在住の滋賀県出身者の方(ご家族を含む)</li> </ul> <p>※接種券は、接種日時点において住民票がある 市区町村が発行したものが必要</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①一般枠</p> <p>②学生、若者(18歳～29歳)優先枠</p> <p>③優先接種対象職種枠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 教職員、警察職員、消防職員、自衛隊員</li> <li>イ 児童福祉従事者(保育士等)、障害福祉サービス従事者、介護従事者</li> <li>ウ 医療従事者</li> <li>エ 柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師</li> <li>オ 消防団員</li> <li>カ 上下水道関係、廃棄物収集等のごみ処理関係</li> <li>キ 理美容、公衆浴場、クリーニング</li> <li>ク 公共交通、バス・タクシー・トラック等</li> <li>ケ 宿泊業、飲食店(認証制度認証店舗)</li> <li>コ 製造、流通、小売関係</li> <li>サ 司法関係、その他国機関</li> </ul> <p>④事業所・団体先行予約枠 (1ヶ月以上先の予約が可能)</p> <p>※ 事業所・団体単位で事前に 申込みが必要</p> <p>当該申込に係る相談受付 窓口をあわせて開設</p> </div>																																										
運営時間	<p>&lt;受付時間&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>曜日</th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>曜日</td> <td>10:30～11:30</td> <td>13:30～16:30</td> <td>18:30～20:00</td> </tr> <tr> <td>金</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>日</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>月</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		曜日	午前	午後	夜間	曜日	10:30～11:30	13:30～16:30	18:30～20:00	金	×	○	○	土	○	○	×	日	×	×	×	月	○	○	×	<p>「予約なし接種」の受付時間</p> <p>※ 受付時間が予約済みの場合と異なります。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>曜日</th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>曜日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>金</td> <td>×</td> <td>14:00～16:00</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>土・月</td> <td>11:00～11:30</td> <td>14:00～16:00</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	曜日	午前	午後	夜間	曜日				金	×	14:00～16:00	19:00～19:30	土・月	11:00～11:30	14:00～16:00	×
曜日	午前	午後	夜間																																								
曜日	10:30～11:30	13:30～16:30	18:30～20:00																																								
金	×	○	○																																								
土	○	○	×																																								
日	×	×	×																																								
月	○	○	×																																								
曜日	午前	午後	夜間																																								
曜日																																											
金	×	14:00～16:00	19:00～19:30																																								
土・月	11:00～11:30	14:00～16:00	×																																								
使用ワクチン	モデルナ社オミクロン株対応ワクチン(18歳以上)																																										
予約方法等	インターネット(県ホームページ 滋賀県広域ワクチン接種センター予約サイト)																																										

## 2. 接種体制

### (5) 県広域ワクチン接種センターの接種実績(令和4年11月21日現在)

月日	接種人数(単位:人)											
	南部					北部					合計	
	午前	午後	夜間	計		午前	午後	夜間	計			
				予約なし						予約なし		予約なし
10月14日 ~10月17日	88	225	94	407		43	113	48	204		611	
10月21日 ~10月24日	113	287	125	525		62	139	65	266		791	
10月28日 ~10月31日	116	298	134	548		81	159	62	302		850	
11月4日 ~11月7日	115	199	81	395	(43)	86	131	40	257	(28)	652	(71)
11月11日 ~11月14日	226	444	163	833	(320)	144	282	91	517	(178)	1,350	(498)
11月18日 ~11月21日	205	570	159	934	(339)	121	393	119	633	(212)	1,567	(551)
計	863	2,023	756	3,642	(702)	537	1,217	425	2,179	(418)	5,821	(1,120)



# 3. 「年末年始ワクチン接種促進強化期間」の実施

## 1 取組の趣旨等

- (1) 趣旨
- 新型コロナウイルス感染症の年末年始の再流行が懸念されることから、市町と連携しながら、接種機会のさらなる拡大を図り、ワクチンの有効性等に係る情報発信を通じて希望者全員のオミクロン株対応ワクチンの接種が年内に完了するよう取り組む。
  - 若者層において3回目接種が進まなかったことをふまえ、次の3つの呼びかけを柱として、特に30歳代以下の若者層を中心に集中的にワクチンの有効性等について発信し、年内接種を促進する。
    - ・すでに従来型ワクチン3回目、4回目接種を完了した方に対する「もう1回だけ接種」の呼びかけ
    - ・これまでにオミクロン株の感染から回復した方への接種の呼びかけ
    - ・受験や就職などを控えている若者や、重症化リスクが高い高齢者等に対する積極的な接種の呼びかけ
- (2) 期間 **11月15日(火)から1月16日(月)まで** (最重点期間**12月10日(土)まで**)
- (3) ターゲット オミクロン株対応ワクチンの効果、有効性等の情報が十分に届いていない若者層(12歳~39歳)

## 2 期間中の取組内容

### (1) 希望者全員が年内に接種できる機会の確保

- ①1日当たり100万回接種に相当する接種体制の確保
  - ・県・市町あわせて「1日当たり11,000回」を超える接種体制
  - ・県内12歳人口を超えるワクチン(約115万回分)を年内に確保
- ②市町接種会場の独自の取組
  - ・「予約なし接種」、「休日接種」、「夜間接種」の実施
  - ・大規模商業施設内での接種会場開設
  - ・接種会場までの送迎バス等の用意
  - ・キャンセル待ち登録制度 など
- ③県広域ワクチン接種センターの取組
  - ・「学生・若者(18歳~29歳)優先枠」の設定
  - ・「夜間接種(金曜日)」、「休日接種(土曜日)」の実施
  - ・「予約なし接種」の継続
  - ・1か月以上先の接種日を予約できる「事業所・団体先行予約枠」の設定と事業所・団体・大学等からの相談受付窓口の設置
  - ・大規模商業施設内での接種会場開設
  - ・幅広い接種対象者(県外在住の通勤・通学者や滋賀県出身者等も対象)

### (2) 接種に行く「きっかけ」づくり

- ①家族・友人・職場などを通じた集中的な理解促進、年内接種の呼びかけ
  - ・オミクロン株対応ワクチンの有効性や副反応、接種状況等を、テレビCMやSNSなど様々なメディアを通じてわかりやすく発信
  - ・企業・団体・大学等との連携
- ②生活スタイルに合わせて接種会場を選べるよう県内の会場運営情報を一括して発信
  - ・市町の集団接種会場の運営情報
  - ・県広域ワクチン接種センターの運営情報
  - ・ノバボックスの接種を受けられる会場の情報
- ③ワクチン無料接種期間(令和5年3月31日まで)の周知

### 3. 「年末年始ワクチン接種促進強化期間」の実施

#### 3 オミクロン株対応2価ワクチンの効果

##### ■従来型ワクチンを上回るオミクロン株への効果が期待されています。

オミクロン株対応ワクチンの追加接種には、オミクロン株の成分が含まれるため、従来型ワクチンと比較した場合、オミクロン株に対する重症化予防効果・感染予防効果・発症予防効果それぞれに寄与する免疫をより強く誘導します。

そのため、オミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果とともに、持続期間が短い可能性があるものの、**感染予防効果や発症予防効果も期待されています。**

##### ■2価のワクチンであることにより、様々な新型コロナウイルスに反応します。

今回のワクチンには、異なる2種類の抗原となる成分が含まれており、これらにより誘導される免疫は、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられます。

そのため、**今後の変異株に対して有効である可能性が、より高いことが期待されています。**

#### 4 オミクロン株対応2価ワクチンの副反応

出典：厚生労働省HP(海外における臨床試験の概要)

ファイザー社及びモデルナ社の2価ワクチンの薬事承認において、**どちらのワクチンも従来型ワクチンとおおむね同様の症状**が見られました。

BA.4/5対応型については、BA.1対応型と同じ株系統を用いていることを踏まえ、安全性に影響を及ぼす可能性は低いと考えられています。

接種後7日間における主な副反応の発現割合（単位：％）

	ファイザー		モデルナ	
	12歳以上	55歳以上	18歳以上	
	従来型ワクチン 2回目	2価ワクチン (BA.1)	従来型ワクチン 2回目	2価ワクチン (BA.1)
接種部位の痛み	60.1	58.1	76.6	77.3
倦怠感	45.3	49.2	41.1	43.9
頭痛	26.5	33.6	66.1	70.3
筋肉痛	19.8	22.3	38.6	54.9
発熱(38℃以上)	3.7	5.0	21.1	23.8

### 3. 「年末年始ワクチン接種促進強化期間」の実施

#### 5 集中的な接種の呼びかけ

<県と市町との連携>

- ①市町の若者層対象の優先接種等の情報を県からも幅広く発信
- ②被接種者の希望や都合にあわせて選べる市町接種会場や県広域ワクチン接種センターの紹介・案内 など

<若者層をターゲットとした集中的な情報発信>

- ①優先接種関係団体、経済団体、職域接種未実施企業、大学等を通じた若者層への発信
- ②テレビ、ラジオ、SNS、インターネット等様々な広報媒体の活用  
(主な内容)
  - 年内接種の促進
  - 市町の若者層対象の取組や集団接種会場等に関する情報
  - 県広域ワクチン接種センターにおける「予約なし接種」等に関する情報 など



広報媒体	時期
(1)びわ湖放送テレビCM(1日2回) SNS広告(Yahoo!、LINE、Twitter)	11月1日頃から12月20日まで
(2)公共交通機関(駅・電車・バス)ポスター掲示	11月12日頃から12月中旬まで
(3)新聞折込チラシ(県内全6紙)	11月12日
(4)県広報番組での広報(広報課に依頼) ・滋賀プラスワンインフォメーション(FMしが) ・しらがインフォメーション(びわ湖放送)	(FMしが) 11月25日 (びわ湖放送) 12月3日、17日
(5)平和堂・イオン店内ポスター掲示	12月中
(6)無料チラシ配信アプリ「Shufuu!(シュフー)」での広報	随時(毎週木曜日)

## 4. ワクチン接種の副反応について

### 副反応疑い報告数

○ワクチン接種は、体内に異物を投与し免疫反応を誘導し、感染症に対する免疫を付与すること目的として行われるため、効果とともに、副反応が生じうる。

○本県の医療機関から、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に『新型コロナワクチンの接種後の副反応疑い』として報告がなされたものとして、厚生労働省から県に情報提供があったものを集計。

○ワクチン接種後には、接種と因果関係のない偶発的な事象も生じるが、因果関係が不明な場合も含めて、副反応を疑う事例として広く収集し、評価の対象としている。

令和4年11月23日現在

	副反応疑い報告数			年代別			
		うち重篤		64歳以下		65歳以上	
			うち死亡		うち死亡		うち死亡
男性	116	68	26	75	12	41	14
女性	198	84	12	136	2	62	10
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	314	152	38	211	14	103	24

※死亡38例のうち、23例については、医療機関からはワクチン接種との因果関係が評価不能、14例は接種との関連ありと報告されている。  
1例は因果関係の記載なし。

### 健康被害救済制度件数

予防接種後に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられる。

令和4年11月23日現在

	進達件数	認定	否認	審議待ち
アナフィラキシー等	15	14	0	1
その他健康被害	52	2	0	50
死亡	10	0	0	10
計	77	16	0	61

※市町健康被害調査委員会等を経て、本県から厚生労働省へ進達した件数

### 専門相談窓口 相談件数

医療機関からのワクチンに関する専門的な問い合わせや、県民からのワクチンの副反応、効果等について、市町での対応が困難な相談に対応するための窓口を設置

令和3年3月1日～令和4年11月23日

	日中	夜間	合計
相談件数	40,836	7,884	48,720

※日中:午前9時から午後6時まで  
夜間:午後6時から午前9時まで